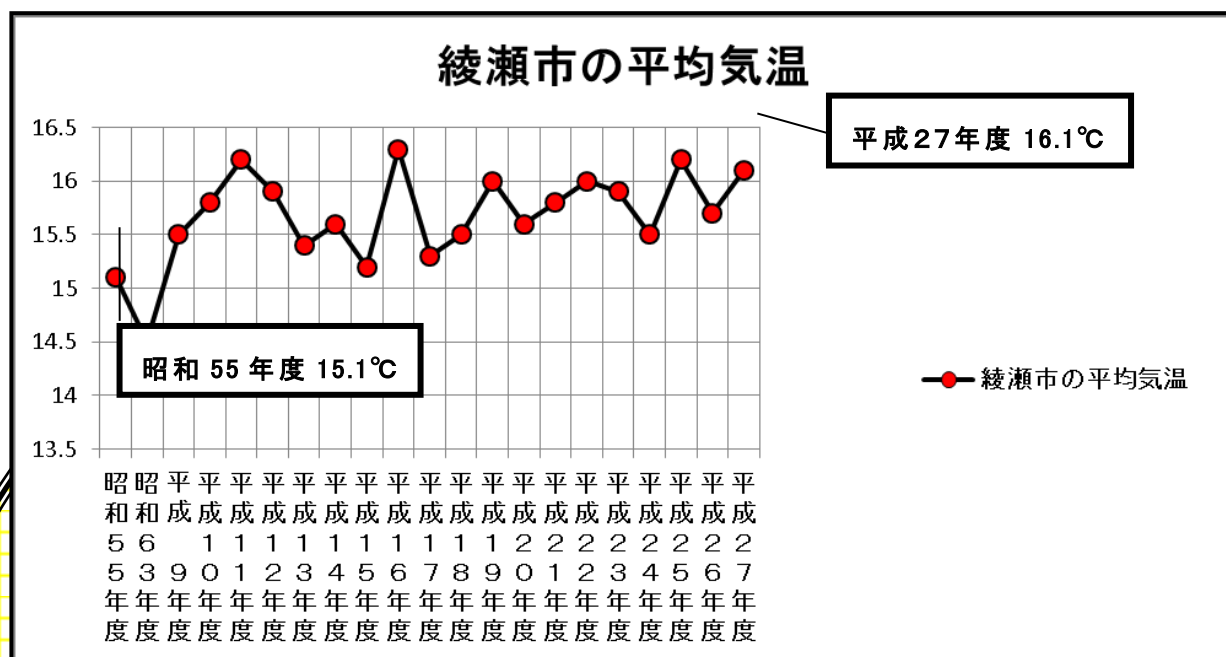


綾瀬市環境報告書

平成27年度取組結果



◇綾瀬市の平均気温の変化(防災対策課):昭和55(1980)年度から平均気温が1°C上昇



マスコットキャラクター

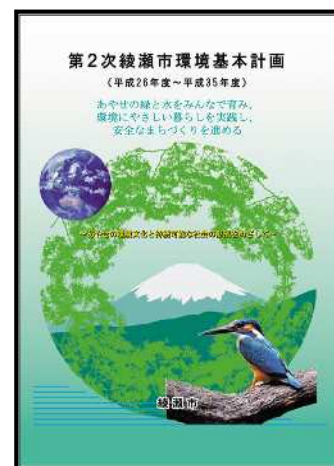
「あやびい」

目 次

1	はじめに	1
	第2次綾瀬市環境基本計画	2
2	平成27年度の取組評価（まとめ）	3
3	各計画の取組結果概要	
	（1）綾瀬市地球温暖化対策推進計画（区域編：綾瀬市域編）	4
	（2）第2次綾瀬市地球温暖化対策実行計画（事務事業編：市役所業務編）	5
	（3）第2次綾瀬市環境基本計画（平成26・27年度）環境行動計画	6
	（4）あやせ環境教育推進基本計画（アクションプラン）	7
4	各計画の今後の取組方針	
	（1）綾瀬市地球温暖化対策推進計画（区域編：綾瀬市域編）	7
	（2）第2次綾瀬市地球温暖化対策実行計画（事務事業編：市役所業務編）	7
	（3）第2次綾瀬市環境基本計画（平成28～30年度）環境行動計画	7
	（4）あやせ環境教育推進基本計画（アクションプラン）	8
5	各計画の報告	
	（1）綾瀬市地球温暖化対策推進計画（平成27年度取組結果）	9
	（2）第2次綾瀬市地球温暖化対策実行計画（取組結果平成27年度実績）	18
	（3）第2次綾瀬市環境基本計画（平成26・27年度）環境行動計画取組結果	23
	（4）あやせ環境教育推進基本計画（平成27年度取り組み結果）	26
	【 資料編 】	
	（1）第2次綾瀬市地球温暖化対策実行計画（事務事業編：市役所業務編）	29
	（2）第2次綾瀬市環境基本計画（平成26・27年度）環境行動計画	35
	（3）あやせ環境教育推進基本計画（アクションプラン）	58
	（4）市民環境団体の活動報告	64
	（5）エコっと21（事業所編）登録事業所活動報告	69

1 はじめに

第2次綾瀬市環境基本計画（平成26年度～平成35年度）は、環境に関する社会情勢の変化をはじめ、地域の環境変化などに対応していくため、第1次計画の内容を踏まえ、新たな取組の方向を定め、総合的・計画的な推進と、市民・市民団体・事業者・市の取組を促進することを目的として、平成26年3月に策定しました。この計画では、6つの「環境の将来像」を設定し、その実現を図るため、20項目の「基本目標」を定め、各年度の具体的な施策・事業を「環境行動計画」として設定しています。



また、環境の将来像（低炭素社会の構築）の実現を図るため、「綾瀬市地球温暖化対策推進計画（区域編：綾瀬市域編）平成27年3月」「第2次綾瀬市地球温暖化対策実行計画（事務事業編：市役所業務編）平成27年3月」を策定し、二酸化炭素排出抑制に向けた施策に取り組んでいます。

さらに、環境の将来像（協働社会の構築）基本目標1「環境教育・環境学習を進め、あやせの環境を育む地域の人づくりを進めます」の実現を図るため、「あやせ環境教育推進基本計画：平成27年3月」を策定し、各年度の具体的な施策・事業を「アクションプラン」として設定しています。

本報告書は、各計画の平成27年度取組事項を、あやせ環境マネジメントシステム「あやせEMS」の進行管理により評価するほか、市民・市民団体・事業者・市の各主体の取組状況を掲載し、今後の取組方針をまとめています。

なお、国は、COP21で表明した二酸化炭素排出量の削減目標を、平成28年5月に「地球温暖化対策計画」として閣議決定し、実現可能な削減目標として、平成42(2030)年度に平成25(2013)年度比 26.0%（平成17(2005)年度比 25.4%）としました。市としても「低炭素社会の構築」に向け、国や県等の政策動向を注視する必要があります。

【報告計画一覧】

- ・綾瀬市地球温暖化対策推進計画（区域編：綾瀬市域編）
- ・第2次綾瀬市地球温暖化対策実行計画（事務事業編：市役所業務編）
- ・第2次綾瀬市環境基本計画（平成26・27年度）環境行動計画
- ・あやせ環境教育推進基本計画（アクションプラン）

【 第 2 次 綾 瀬 市 環 境 基 本 計 画 】

基本
テーマ

環境の将来像

基本目標

あやせの緑と水をみんなで育み、環境にやさしい暮らしを實踐し、安全なまちづくりを進める

あやせの環境文化と持続可能な社会の形成をめざして

環境の将来像
豊かな森と水に人々がふれあい、多様な生きものが生息するまち
(自然共生社会の構築)

- 1 緑と水のネットワークをつくり、生物の多様性を守り、育みます
- 2 水辺の斜面林や森を守り、緑化を進め、自然とのふれあいを豊かにします
- 3 カワセミなどが飛来し、ホタルが飛ぶ水に親しめる場をつくりま
- 4 環境にやさしい農業を進め、ふれあい豊かな農地を守り、育みます

環境の将来像
生活環境の保全・改善をはかり、みんなが安心して暮らせるまち
(生活環境の保全・改善)

- 1 富士山や大山の景観が楽しめる、空気がきれいなまちにします
- 2 さまざまな魚が棲み、きれいな水が流れる川を守ります
- 3 航空機騒音が少なく、静かで、安らぎのある、住み良いまちにします

環境の将来像
歴史・文化資源を活かし、環境と共生するまち
(文化・都市環境の形成)

- 1 大切な財産である歴史・文化資源を守り、伝えます
- 2 都市公園など市街地の緑を増やし、うるおいのある景観をつくりま
- 3 人と環境にやさしい交通体系を整備しま
- 4 オープンスペースの確保など環境面から地域の防災性を高めま
- 5 ごみが散乱しないきれいなまちにします

環境の将来像
ごみの減量化や3Rが進められ、資源が大切に利用されるまち
(循環型社会の構築)

- 1 生活や事業によるごみを減らし、適正に処理しま
- 2 資源を大切にし、再使用や再生利用を進めま

環境の将来像
地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち
(低炭素社会の構築)

- 1 電気・ガスなどの省エネルギー化やエネルギーの有効利用を進めま
- 2 太陽光発電など再生可能エネルギーの活用を進めま

環境の将来像
環境を保全・創造するために、市民・市民団体・事業者・市がみんなで協働するまち
(協働社会の構築)

- 1 環境教育・環境学習を進め、あやせの環境を育む地域の人づくりを進めま
- 2 地球環境を守るため、市民・市民団体・事業者・市が協働して取り組ま
- 3 事業者自らが環境意識を高め、環境にやさしい事業活動を進めま
- 4 環境情報の整備と発信など、環境情報の共有化を進めま

2 平成27年度の取組評価（まとめ）

平成27年度の各計画の取組評価は次のとおりとなりました。

【 各計画の目標達成状況 】

- (1) 地球温暖化対策推進計画 - 平成27年度～平成35年度 - (区域編：綾瀬市域編)における、綾瀬市内からの二酸化炭素排出量(平成25年度)は、1,048千t-CO₂となり、目標排出量883千t-CO₂以下は未達成となりました。

- (2) 地球温暖化対策実行計画 - 平成27年度～平成31年度 - (事務事業編：市役所業務編)における、市役所業務からの二酸化炭素排出量は、7,361t-CO₂となり、目標排出量7,367t-CO₂を達成できました。

- (3) 第2次環境基本計画の第1期行動計画 - 平成26・27年度 - として201項目を設定した本計画は、達成率82.5%「ほぼ目標どおり」となり、計画的な実践に取り組むことができました。

- (4) あやせ環境教育推進基本計画 - 平成27年度～平成35年度 - (アクションプラン - 平成27年度～平成30年度 -)として設定した49項目の達成率は、93.9%「ほぼ目標どおり」となりました。また、市立小・中学校での36項目の行動についても実施できました。

【 各計画の推進方針 】

- (1) 地球温暖化対策推進計画(区域編：綾瀬市域編)の排出量削減目標達成に向け、「家庭部門からの二酸化炭素排出量削減」を重点とし、「環境保全対策補助事業」「あやせエコっと21」の2事業を中心に、各種環境啓発事業に取り組みます。

- (2) 地球温暖化対策実行計画(事務事業編：市役所業務編)の二酸化炭素排出量のさらなる削減に向け、本庁舎のLED照明化、市立綾南小学校への太陽光発電設備の設置や省エネルギー行動に取り組みます。

(3) 第1期環境行動計画の未達成となった行動については、行動内容の精査を行い、達成できる行動内容を設定し、第2期行動計画 - 平成28年度～平成30年度 - として取り組みます。

(4) 県や先進都市等の情報収集を行い、「(仮称)あやせ生物多様性行動指針」策定に向け取り組みます。

(5) あやせ環境教育推進基本計画(アクションプラン)については、商工会や各工業団地等と連携を図り、事業所向けの講座開催や従業員向けの環境教育の支援等を推進するとともに、教育委員会や学校、市民団体、事業所等と連携し、環境教育の効果的な推進に取り組みます。また、市立小・中学校における行動計画についても、引き続き、取り組みます。

3 各計画の取組結果概要

各計画の詳細については後述しますが、ここでは、平成27年度の取組結果概要を記載します。

(1) 綾瀬市地球温暖化対策推進計画(区域編:綾瀬市域編)詳細P9～

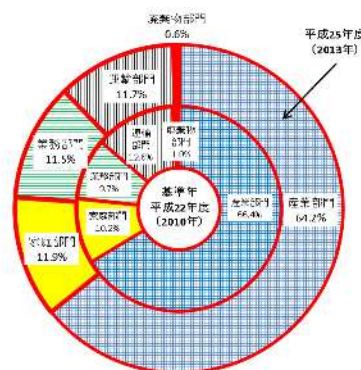
市域からの排出量は、環境省の手引書に沿って、国や県のデータから推計する簡易的な按分手法を用いて算出しています。データの制約上、2年程度さかのぼって算出することとなるため、平成25年度の推計排出量を基に考察しています。

本計画では、平成35(2023)年度の削減目標として、基準年(平成22(2010)年)度をベースに、二酸化炭素排出量を約7万5千トン(約8%)削減し、883千トン以下にすることを目指しています。

しかし、市域の平成25年度の二酸

部門別二酸化炭素排出量の変動 (単位:千t-CO2)

部門	基準年 平成22年度 (2010年)		平成25年度 (2013年)		基準年比	
	排出量	構成比	排出量	構成比	排出量	増減率
産業部門	636	66.4%	673	64.2%	37	5.8%
家庭部門	98	10.2%	125	11.9%	27	27.6%
業務部門	93	9.7%	121	11.5%	28	30.1%
運輸部門	121	12.6%	123	11.7%	2	1.7%
廃棄物部門	10	1.0%	6	0.6%	-4	-40.0%
合計	958	100.0%	1,048	100.0%	90	9.4%



化炭素排出量は 1,048 千t-CO₂となり、基準年（平成22年）度と比較すると、90 千t-CO₂、9.4%増加してしまいました。

また、二酸化炭素排出量の構成比は、産業部門64.2%、家庭部門11.9%、業務部門11.5%、運輸部門11.7%、廃棄物部門0.6%となりました。産業部門が大部分を占めていますが、伸び率では、家庭部門（+27.6%）や業務部門（+30.1%）の方が大きくなっており、家庭や事業所での電力や燃料、商品の使用量増加が伺えます。

市では、市域からの二酸化炭素排出量の排出抑制を図るため、特に、増加傾向にある「家庭部門」からの排出抑制対策として、平成17年度から「環境保全対策補助事業」に取り組んでいますが、本計画では、太陽光発電設備設置事業補助に伴う二酸化炭素排出削減量を、平成35年度2,980 t-CO₂に設定しています。平成27年度の削減量は、2,073 t-CO₂となり、計画目標達成率は69.6%となるとともに、平成27年度の目標1,650 t-CO₂に対し、達成率は125.6%となりました。

さらに、平成18年度から「あやせエコっと21」を実施し、第2次環境基本計画を基に、各種啓発事業に取り組んでいます。

なお、この2事業（環境保全対策補助事業、あやせエコっと21）の取組により、平成25年度の市域の「家庭部門」からの排出抑制として、約1,698.7 t-CO₂の二酸化炭素の削減効果がありました。

（2）第2次綾瀬市地球温暖化対策実行計画（事務事業編：市役所業務編）

詳細 P 18 ~

本計画の削減目標は、平成31年度までに、平成25年度比3.8%削減としていますが、平成27年度の、事務事業（市役所業務）から排出された二酸化炭素の総量は、7,361 tとなり、基準年（平成25年）度と比較すると、299 t-CO₂、3.9%削減することができました。

平成25年度（基準年度）の二酸化炭素排出量	: 7,659 t
平成27年度の二酸化炭素排出量	: 7,361 t
基準年度に対する増減率	: 3.9%

しかし、平成31年度目標の二酸化炭素目標排出量は、平成27年度以降、平成31年度までに新設される2施設[神崎遺跡資料館(平成28年度開館)、

(仮称)保健福祉センター]からの試算排出量を追加した数値としておりますので、既存施設の排出量7,276tと比較すると、85t-CO2多い結果となりました。 第2次実行計画P13から抜粋

平成25年度排出量(kg)	7,659,347	削減取組後目標排出量(kg):	7,275,979	-5.0%
		新設施設等排出量(kg):	91,011	
		合計	7,366,990	-3.8%

【二酸化炭素の活動項目別排出状況】

活動項目		平成27年度(2015年度)				単位
		使用量	単位	排出係数	排出量	
電気の使用	東京電力(株)など	11,698,637	kWh	0.325~0.568	5,514,458	kg-CO2
燃料の使用	ガソリン	66,678	L	2.32	154,693	
	灯油	183,750		2.49	457,538	
	軽油	64,053		2.58	165,257	
	A重油	2,200		2.71	5,962	
	液化石油ガス(LPG)	16,549	m3	3.00	49,646	
	都市ガス(13A)	454,117		2.23	1,012,681	
	天然ガス(CNG)	254		2.22	564	
合計					7,360,799	

単位未満四捨五入のため、合計と内訳が一致しない場合があります。
ガソリン、軽油、LPGは施設と公用車の排出量の合計となります。
電気の排出係数は、電気事業者により異なります。

(3) 第2次綾瀬市環境基本計画 第1期(平成26・27年度)環境行動計画 詳細P23~

環境の将来像 ~ に掲げられた行動内容の、全体の達成率は82.5%(将来像毎の達成率合計÷6:将来像)となり「ほぼ目標どおり」となりました。また、各将来像の達成率は次のとおりとなり、計画的な実践に取り組むことができました。

環境の将来像 豊かな森と水に人々がふれあい、多様な生きものが息するまち(自然共生社会の構築): 83.0%

環境の将来像 生活環境の保全・改善をはかり、みんなが安心して暮らせるまち(生活環境の保全・改善): 100.0%

環境の将来像 歴史・文化資源を活かし、環境と共生するまち(文化・都市環境の形成): 82.4%

環境の将来像 ごみの減量化や3Rが進められ、資源が大切に利用されるまち(循環型社会の構築): 88.2%

環境の将来像 地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち（低炭素社会の構築）：58.9%

環境の将来像 環境を保全・創造するために市民・市民団体・事業者・市がみんなで協働するまち（協働社会の構築）：82.3%

（４）あやせ環境教育推進基本計画（アクションプラン）詳細P26～

アクションプラン49項目のうち、46項目を目標どおり実行できたことから、達成率は93.9%となり「ほぼ目標どおり」となりました。

取組結果としては、4目標のうち3目標「（１）人材の育成と活用」「（２）プログラム等の整備と活用」「（４）情報提供と相談体制の整備」のアクションプラン全12項目全てが「目標どおり」となったことから、アクションプランの実行により、計画で設定した「展開方向」を推進することができました。また、環境に関する正しい理解を促進し、環境保全の取組へのきっかけづくりをするための「綾瀬市環境学習プログラム集」を発行しました。さらに、環境啓発事業を実施し、約440名の参加がありました。

加えて、市立小・中学校において36項目の行動を設定していますが、学校ごとに工夫を加え、児童・生徒に指導することができました。

4 各計画の今後の取組方針

（１）綾瀬市地球温暖化対策推進計画（区域編：綾瀬市域編）

市民や事業者と連携した啓発活動や事業支援により、省エネ行動の実践、再生可能エネルギーの活用支援などを行い、市としては主に、家庭部門からの二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。

（２）第2次綾瀬市地球温暖化対策実行計画（事務事業編：市役所業務編）

総排出量の74.9%を占める「電気の使用」からの排出量を削減するため、LED照明化などの高効率照明の導入や、「綾瀬市公共施設マネジメント基本方針」に基づく施設の更新に当たり、省エネルギー設備の導入や、太陽光発電設備などの新エネルギーを利用した設備の導入を推進するとともに、市民サービスを低下させることなく、節電をはじめとする、市役所業務の中での省エネルギー行動を継続的に取り組みます。

(3) 第2次綾瀬市環境基本計画 第2期(平成28～30年度)環境行動計画

第1期で未達成となった行動については、行動内容の精査を行い、達成できる行動内容として取り組みます。また、重点的(優先的)取組内容として設定した、(仮称)あやせ生物多様性行動指針の策定については、県が「神奈川みどり計画(平成18(2006)年度から平成27(2015)年度)」を平成28年3月に「かながわ生物多様性計画」として改定したことから、先進都市等の情報収集を行い、策定に向け取り組みます。

さらに、環境の将来像(低炭素社会の構築)については、地球温暖化により、豪雨など異常気象の発生や農作物への影響の懸念等があり、低炭素社会の構築は喫緊の課題となっていることから、二酸化炭素の排出抑制に向け、省エネを実践し、再生可能エネルギー利用の促進に取り組みます。

(4) あやせ環境教育推進基本計画(アクションプラン)

参加の場や機会づくりの展開方向「年齢や環境への関心の程度に応じた、環境教育の機会を提供します。」については、商工会や各工業団地等と連携を図り、事業所向けの講座開催や従業員向けの環境教育の支援等を推進するとともに、教育委員会や学校、市民団体、事業所等と連携し、環境教育の効果的な推進に取り組みます。

また、小・中学校における行動計画についても、引き続き、取り組みます。

さらに、「綾瀬市環境学習プログラム集」の内容を定期的に更新し、情報提供することで、環境保全の取組へのきっかけづくりに取り組みます。



綾瀬市地球温暖化対策推進計画

平成 27 年度～平成 35 年度
地球温暖化防止のために、
みんなで省エネや創エネを進めるまち
低炭素社会の構築を目指して

平成 27 年度 取組結果

1 綾瀬市地球温暖化対策推進計画 - 平成 27 年度～平成 35 年度 - の概要

本計画は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」第 21 条に基づき、平成 27 年 3 月に策定し、本市区域の自然的条件に応じた温室効果ガスの排出削減のための施策を定め、地球温暖化対策を推進するものです。

綾瀬市地球温暖化対策推進計画の概要は以下のとおりです。

計画の目的 第 2 次綾瀬市環境基本計画に掲げる低炭素社会の構築に向けた環境の将来像「地球温暖化防止のために、みんなで省エネ創エネを進めるまち」の実現を図る。

基準年度 平成 22 年度

計画期間 平成 27 年度～平成 35 年度

計画の位置づけ 環境行政の方向性を定めた「第 2 次綾瀬市環境基本計画」（平成 26 年度～平成 35 年度）の分野別計画として、市民・事業者・市が一体となって取り組み、市域全体で施策を推進します。

対象温室効果ガス 「地球温暖化対策の推進に関する法律」第 2 条第 3 項に基づく、二酸化炭素(CO₂)、メタン(CH₄)、一酸化二窒素(N₂O)、ハイドロフルオロカーボンのうち政令で定めるもの(HFC)（パーフルオロカーボンのうち政令で定めるもの(PFC)、六ふっ化硫黄(SF₆)、三ふっ化窒素(NF₃)は、対象外とする。）

（「地球温暖化対策の推進に関する法律」平成 28 年 5 月改正）

基準年度（平成 22 年度）の二酸化炭素排出量 95 万 8 千 t

削減目標 二酸化炭素排出量を平成 35 年度までに 7 万 5 千 t（約 8%）削減
（平成 35 年度二酸化炭素排出量目標：88 万 3 千 t）

2 温室効果ガス排出量の算出方法

本市区域の排出量は、環境省手引書に沿って、国や県のデータから推計する簡易的な按分手法を用いて算出しています。データの制約上2年程度さかのぼって算出することとなるため、平成27年度取組結果のデータは、平成25年度排出量となります。

3 平成25年度の二酸化炭素の排出状況

本計画では、平成35(2023)年度の削減目標として、基準年(平成22(2010)年)度をベースに、二酸化炭素排出量を約7万5千トン(約8%)削減し、883千トン以下にすることを目指しています。

しかし、本市区域の平成25年度の二酸化炭素排出量の推計結果は1,048千t-CO₂となり、基準年(平成22年)度と比較すると、90千t-CO₂、9.4%増加してしまいました。

温室効果ガス排出量

(単位:千t-CO₂)

温室効果ガス種・部門など				基準年 平成22年度 (2010年度)	平成25年度 (2013年度)	基準年比	
						増減量	増減率
二酸化炭素	エネルギー 起源 (間接 排出 量)	産業 部門	製造業	623	662	39	6.3%
			建設業・鉱業	10	9	-1	-10.0%
			農林水産業	2	2	0	0.0%
		小計	636	673	38	5.8%	
	家庭部門	98	125	27	27.6%		
	業務部門	93	121	28	30.1%		
	運輸部門	121	123	2	1.7%		
	小計	948	1042	94	9.9%		
	非エネルギー起源(廃プラも焼却)	10	6	-4	-40.0%		
	二酸化炭素(CO₂)排出量 計				958	1,048	90
その他のガス(CH ₄ 、N ₂ O、HFC)計				4	4	0	0.0%
温室効果ガス 計				962	1,052	90	9.4%
人口(人)				83,167	83,828	661	0.8%
1人当たり二酸化炭素排出量(t-CO ₂ /人)				11.5	12.5	-	-
1人当たり温室効果ガス排出量(t-CO ₂ /人)				11.6	12.5	-	-

数値は四捨五入して千t-CO₂としていますので、合計が合わないことがあります。

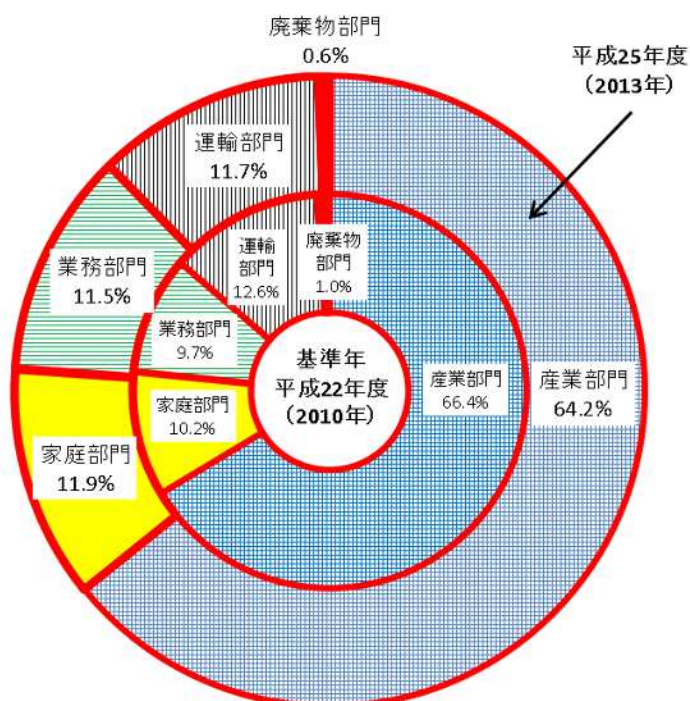
市域においては、経済状況(好景気、不景気)などの影響を受けることから、景気動向により、二酸化炭素排出量が変動する要因がありますが、国では、次のように考察しています。

・排出量が増加した要因として、二酸化炭素排出係数の高い火力発電への依存や、電力や石油製品の消費量の増加により、エネルギー起源の二酸化炭素排出量が増加したため。

4 部門別の二酸化炭素の排出状況

本市域の二酸化炭素排出量の構成比は、産業部門64.2%、家庭部門11.9%、業務部門11.5%、運輸部門11.7%、廃棄物部門0.6%となりました。

産業部門が大部分を占めていますが、伸び率では、家庭部門(+27.6%)や業務部門(+30.1%)の方が大きくなっています。



部門別二酸化炭素排出量の変動

(単位:千t-CO₂)

部門	基準年 平成22年度 (2010年)		平成25年度 (2013年)		基準年比	
	排出量	構成比	排出量	構成比	排出量	増減率
産業部門	636	66.4%	673	64.2%	37	5.8%
家庭部門	98	10.2%	125	11.9%	27	27.6%
業務部門	93	9.7%	121	11.5%	28	30.1%
運輸部門	121	12.6%	123	11.7%	2	1.7%
廃棄物部門	10	1.0%	6	0.6%	-4	-40.0%
合計	958	100.0%	1,048	100.0%	90	9.4%

産業部門

工業統計に基づく製造品出荷額が、3,869億円(平成22年度)から4,114億円(平成25年度)と6.3%増加するなど、生産活動による二酸化炭素排出量が増加しています。

電力消費量は減少しましたが、東日本大震災による原子力発電所の停止に伴い、その分を火力発電所が稼動したため、二酸化炭素排出量は増加しました。

家庭部門

世帯数が、33,651世帯(平成22年度)から33,778世帯(平成25年度)と6.3%増加し、LPガス使用世帯が76.4%と、世帯の多くがLPガスを使用しているため、LPガス消費量が増加しています。

また、産業部門と同様に、電力消費量は減少しましたが、火力発電所の稼動により、二酸化炭素排出量が増加しました。

業務部門

A重油や灯油の消費量は減少していますが、市街化が進み、スーパーなどの第3次産業が増加したことから、LPガス消費量が増加しました。

運輸部門

省エネカーが普及傾向にありますが、世帯数の増加に伴う自動車台数の増加により、二酸化炭素排出量も増加しました。

5 本市の取組状況

市では、市域からの二酸化炭素排出量の排出抑制を図るため、特に、増加傾向にある「家庭部門」からの排出抑制対策として、平成17年度から「環境保全対策補助事業」を、平成18年度から「あやせエコっと21」を実施し、この2事業を中心に、第2次環境基本計画を基に、各種啓発事業に取り組んでいます(啓発事業の取組み結果については、「環境行動計画」及び「環境教育推進計画(アクションプラン)」参照)。

「環境保全対策補助事業」については、本計画では、太陽光発電設備設置事業補助(再生可能エネルギーの導入)に伴う二酸化炭素排出削減量を、平成35年度2,9

80 t-CO2 に設定しています。平成27年度の削減量は、2,073 t-CO2 となり、計画目標達成率は69.6%となるとともに、平成27年度の目標1,650 t-CO2 に対し、達成率は125.6%となりました。

1.再生可能エネルギーの導入	対象	対象数			設定	削減見込量 (t-CO2/年)
		全対象数	単位	計画での予定対象数		
(1)市の太陽光発電設備設置等補助事業	現在の補助を継続				導入率(%)	
1)住宅用太陽光発電設備設置補助	住宅	H23 H35年度までの予定対象数		1,900軒	100%	2,770
2)共同住宅用太陽光発電設備設置補助	共同住宅	H23 H35年度までの予定対象数		30軒	100%	50
3)事業所用太陽光発電設備設置補助	事業所	H23 H35年度までの予定対象数		30件	100%	160
						2,980

		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度		
CO2削減量	削減目標	個人	1,331,666	1,606,176	1,752,192	1,898,208	2,044,224	2,190,240	2,336,256	2,482,272	2,628,288	2,770,000	
		共同	7,301	10,951	16,427	21,902	27,378	32,854	38,329	43,805	49,280	50,000	
		事業所	43,805	32,854	49,280	65,707	82,134	98,561	114,988	131,414	147,841	160,000	
		計	1,382,772	1,649,981	1,817,899	1,985,818	2,153,736	2,321,654	2,489,573	2,657,491	2,825,410	2,980,000	
	削減実績	個人	1,221,486	1,998,503									
		共同	8,016.28	16,547									
		事業所	39,734.60	57,691									
		計	1,269,237	2,072,740	0	0	0	0	0	0	0	0	
	達成率		91.8%	125.6%									
	H35年度:目標達成率		42.6%	69.6%									

この2事業の取組により、平成25年度の市域の「家庭部門」からの排出抑制として、約1,695.7 t-CO2の二酸化炭素の削減効果がありました(環境保全対策補助事業:個人住宅用・共同住宅・事業所用太陽光発電設備:1,689 t-CO2。あやせエコっと21家庭編:節電・節水:6.7 t-CO2)。

平成27年度では、約2,304.4 t-CO2の二酸化炭素の削減効果があり、50年杉約164,600本/年の植林効果(1本約14kg/年:関東森林管理局)に匹敵します。また、人で試算すると、約1,047人分(2014年度:約2,200kg-CO2/年:全国地球温暖化防止活動センター)の二酸化炭素排出量となります。

なお、平成27年度の取組結果は次のとおりとなりました。

二酸化炭素排出量は、綾瀬市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)で設定した平成25年度係数で計算。

(1)環境保全対策補助事業:太陽光発電設備の導入など地球温暖化対策に有効な機器の導入に対し、一部経費を助成することによって普及促進を図っています。この取組により、平成27年度では、約2,297 t-CO2の二酸化炭素を削減することができました

太陽光発電設備設置補助金（個人住宅・共同住宅・事業所用）

平成17年度から開始した個人住宅用補助は、平成27年度までの累計が、1,010件で3,770.76kW、平成25年度から開始した共同住宅用が5件で31.22kW及び事業所用が8件で108.85kW、合計3,910.83kWとなりました。年間では、3,910,830kWh(3910.83kW×1,000kWh/年)の電気を生むことになり、約2,073t-CO₂(3910.83kW×1,000kWh×0.53)の二酸化炭素が削減できました。

家庭用燃料電池（エネファーム）設置補助金（平成25年度から実施）

平成27年度までの累計は62台となり、約82t-CO₂〔62台×1,330kg-CO₂（1台当たりの年間削減量）〕の二酸化炭素が削減できました。

電気自動車導入補助金（平成23年度から実施）

平成23年度から開始し、平成27年度までの累計は61台となりました。1ℓ当たり10km、年平均10,000km走行すると想定した場合、年間、約142t-CO₂〔61台×10,000km÷10km/ℓ×2.32（ガソリン排出係数）〕の二酸化炭素が削減できました。

雨水貯留槽設置補助金（平成17年度から実施）

平成17年度から開始し、水資源保護と水道水作製時の二酸化炭素排出の抑制を目的に実施しています。平成27年度は、累計で112基17,254ℓの節水効果となりました（「25mプール：長さ25m×幅10m×水深1m=25,000ℓ」の0.7杯分）。



個人住宅用太陽光発電設備設置状況

年度	件数 (件)	発電量 (kwh)
17	23	62.56
18	21	66.35
19	48	136.3
20	33	103.95
21	50	162.83
22	167	563.22
23	154	576.75
24	142	557.12
25	153	623.85
小計	791	2852.93
26	121	493.24
27	98	424.59
合計	1,010	3,770.76

共同住宅用太陽光発電設備設置状況

年度	件数 (件)	発電量 (kwh)
24	2	7.18
25	1	8.84
小計	3	16.02
26	1	5.94
27	1	9.26
合計	5	31.22

事業所用太陽光発電設備設置状況

年度	件数 (件)	発電量 (kwh)
24	4	60.51
25	2	34.02
小計	6	94.53
26	2	14.32
27	0	0
合計	8	108.85

雨水貯留槽設置状況

年度	件数	容量(ℓ)
17	5	1,140
18	1	200
19	6	1,507
20	21	2,750
21	20	2,367
22	6	790
23	12	1,610
24	19	3,200
25	8	1,240
小計	98	14,804
26	9	1,350
27	5	1,100
合計	112	17,254

家庭用燃料電池
(エネファーム)
設置状況

年度	台数
25	19
26	20
27	23
合計	62

電気自動車導入状況

年度	台数
23	15
24	12
25	13
小計	40
26	8
27	13
合計	61

(2) あやせエコっと21(家庭編)キャンペーン: 家庭での節電や節水など、環境に配慮した行動や取組を進めていくため、平成18年度から始まった市独自の普及・啓発活動です。前年同月比等で二酸化炭素排出量を抑制した場合に応募でき、抽選で旅行券やあやせ名産品会などの賞品が当たるキャンペーンで、平成26年度からは、あやせ環境ネットワークと協働で実施しています。

平成27年度は、この取組(節電・節水・レジ袋削減・家電製品買換え)により、合計で約7.4t-CO2の二酸化炭素排出量の抑制ができました。

節電・節水キャンペーン:期間中の使用量が昨年同期より削減できた場合に応募できます。

・二酸化炭素削減量：平成27年度は、応募件数

節電コースが229件、9,072 kWh	年度	25	26	27
の削減。節水コースが51件、2,2	件数	331	497	280

0.8 m³の削減。これらに電気の二酸化炭素係数0.53と水道の係数0.36を掛け、節電・節水で約5.6 t-CO₂の二酸化炭素を削減することができました(推計)。

レジ袋削減キャンペーン：市内レジ袋削減推進登録店等でマイバッグを持参して、1,000円以上買い物をした15,000円分のレシートが対象として応募できます。

・平成27年度は、応募口数402口、レシート枚数2,261枚。レシート1枚につきレジ袋(L	応募件数		
	年度	26	27
Lサイズ10g)1枚を削減したとして推計。二酸化炭素削減量は、1枚あたり	件数	307	402

60gをかけると、約136 kg-CO₂の二酸化炭素が削減できました(推計)。

家電製品買換えキャンペーン:平成27年度新規に設定したコースで、エアコン、冷蔵庫、テレビを、消費電力が減少する家電製品に買い換えた場合に購入店に応じた口数の応募ができます。

・環境省の「しんきゅうさん：省エネ製品買換ナビゲーション」に基づく、推計二酸化炭素削減量は、約1,650	応募件数	
	年度	27
kg-CO ₂ となりました(推計)。	件数	12

(3) あやせエコっと21(事業所編):環境配慮行動(136)から2つ以上の項目に取り組んだ事業所を「環境に配慮する事業所」として登録し、登録証を交付するとともにHPで紹介する。事業者の環境配慮行動を促しました。 3件辞退

年度	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	合計
件数	1	8	14	1	3	0	5	5	10	0	44

6 今後の取組

第2次綾瀬市環境基本計画に基づく「環境行動計画」により、低炭素社会の構築に向けた取り組みを推進していますが、廃棄物部門以外の全ての部門で、二酸化炭素排出量が増加傾向にあります。

家庭部門からの排出量も増加傾向にあります。その要因は、次の事項などが考えられます。

電化製品の種類の増加

世帯数の増加

電化製品の保有台数の増加

電化製品の大型化

また、国において、平成28年5月に閣議決定された地球温暖化対策計画では、平成42(2030)年度に、平成25(2013)年度比で26%削減するとの中期目標を定め、長期的目標として平成62(2050)年までに80%の温室効果ガスの排出削減を目指すことが位置付けられました。家庭部門でも40%の削減を目標としています。

そこで、国では、主な省エネ対策として、次の事項を掲げています。

省エネ住宅の普及(新築・既築)

高効率給湯器の導入(ヒートポンプ式給湯器、エネファームなど)

LEDなど高効率照明の導入

次世代自動車の普及(電気自動車、ハイブリッド車など)

この事項に対応するために、市としても「環境保全対策補助事業」を継続実施し、排出量の削減に取り組む必要があります。

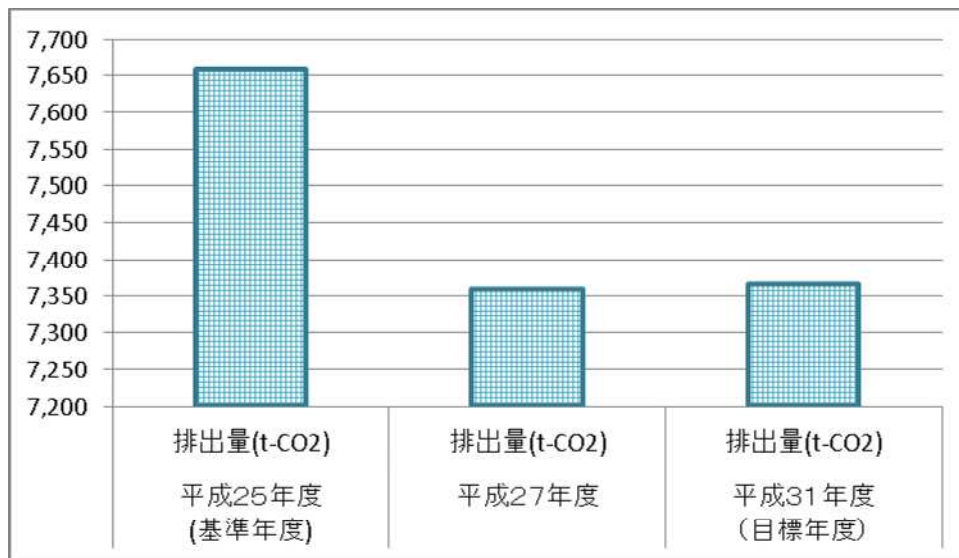
さらに、意識啓発事業を実施するとともに、「あやせエコっと21(家庭編)」事業を継続実施し、排出量の削減に取り組む必要があります。

今後も、市民や市民団体、事業者等と連携した啓発活動や事業支援により、省エネ行動の実践、再生可能エネルギーの活用支援などを行い、主に、家庭部門からの二酸化炭素排出量の削減に取り組む必要があります。

第2次 綾瀨市地球温暖化対策実行計画 (事務事業編) 取組結果(平成27年度実績)

二酸化炭素排出状況

年度	平成25年度 (基準年度)	平成27年度	平成31年度 (目標年度)
	排出量(t-CO2)	排出量(t-CO2)	排出量(t-CO2)
排出量	7,659	7,361	7,367
基準年度比 (%)		3.9	3.8



1 第2次（平成27年度～平成31年度）実行計画（事務事業編）の概要

本実行計画は、「地球温暖化対策の推進に関する法律（平成28年5月改正）」に基づき、第1次実行計画（平成22年度～26年度）を受け、第2次実行計画として、平成27年3月に策定し、綾瀬市役所の全ての事務事業から排出される温室効果ガスの削減に向けた各種取組を推進するものです。

第2次実行計画（事務事業編）の概要は以下のとおりです。

計画の目的 温室効果ガスの排出量の削減目標の実現に向け、各種取組を行い、地球温暖化対策の推進を図る。

基準年度 平成25年度

計画期間 平成27年度～平成31年度

目標年度 平成31年度

計画の位置づけ 「綾瀬市環境基本条例」の基本理念を基に、「第2次綾瀬市環境基本計画」に掲げられた重点施策を踏まえるとともに、綾瀬市環境マネジメントシステム（あやせEMS）の環境配慮プログラムの取組のうち、特に温室効果ガスの排出削減を推進する取組やその推進体制を生かしながら進める。

対象事務事業 市長部局、消防、議会事務局、監査事務局、選挙管理委員会事務局、農業委員会事務局、教育委員会で行う全ての事務事業

対象温室効果ガス 二酸化炭素〔他の温室効果ガス（メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボンのうち政令で定めるもの、パーフルオロカーボンのうち政令で定めるもの、六ふっ化硫黄、三ふっ化窒素）は、対象外とする。〕

基準年度（平成25年度）の二酸化炭素排出量 7,659 t

削減目標 二酸化炭素排出量を平成31年度までに、平成25年度比 3.8%

【温室効果ガスの削減目標】

	平成25年度 (2013年度)	平成31年度 (2019年度)	
	実績・基準値	目標値	削減目標
CO ₂ 排出量(t-CO ₂)	7,659	7,367	292
平成25年度比(%)	-	96.2%	3.8%

温室効果ガス排出量の算定

温室効果ガス総排出量の算定は、「温室効果ガス総排出量算定ガイドライン（環境省）」により行う。計画の目標設定、実施状況の評価等を行うため、計画期間中の排出係数を一定とする。

2 平成27年度の取組状況の把握方法

綾瀬市役所の本庁舎及び市が管理する公共施設で行う事務事業を対象としていることから、取組状況の把握は「綾瀬市環境マネジメントシステム（あやせEMS）」により、施設管理主管課を通じて、電気、ガス、灯油など、エネルギーの使用量を照会し、二酸化炭素排出量を集計しました（平成25年度二酸化炭素係数で積算）。

3 平成27年度の二酸化炭素の排出状況

本計画の削減目標は、平成31年度までに、平成25年度比3.8%削減としていますが、平成27年度の事務事業から排出された二酸化炭素の総量は、7,361tとなり、基準年（平成25年）度と比較すると、299t-CO₂、3.9%削減することができました。

平成25年度（基準年度）の二酸化炭素排出量	: 7,659 t
平成27年度の二酸化炭素排出量	: 7,361 t
基準年度に対する増減率	: 3.9%

しかし、平成31年度目標の二酸化炭素目標排出量は、平成27年度以降、平成31年度までに新設される2施設[神埼遺跡資料館（平成28年度開館）、（仮称）保健福祉センター]からの試算排出量を追加した数値としておりますので、既存施設の排出量7,276tと比較すると、85t-CO₂多い結果となりました。

平成25年度排出量(kg)	7,659,347	削減取組後目標排出量(kg):	7,275,979	-5.0%
		新設施設等排出量(kg):	91,011	
		合計	7,366,990	-3.8%

第2次実行計画P13から抜粋

【二酸化炭素の活動項目別排出状況】

活動項目		平成27年度（2015年度）				
		使用量	単位	排出係数	排出量	単位
電気の使用	東京電力(株)など	11,698,637	kWh	0.325~0.568	5,514,458	kg-CO ₂
燃料の使用	ガソリン	66,678	L	2.32	154,693	
	灯油	183,750		2.49	457,538	
	軽油	64,053		2.58	165,257	
	A重油	2,200		2.71	5,962	
	液化石油ガス(LPG)	16,549	m ³	3.00	49,646	
	都市ガス(13A)	454,117		2.23	1,012,681	
	天然ガス(CNG)	254		2.22	564	
合計					7,360,799	

単位未満四捨五入のため、合計と内訳が一致しない場合があります。
ガソリン、軽油、LPGは施設と公用車の排出量の合計となります。
電気の排出係数は、電気事業者により異なります。

4 活動項目別の二酸化炭素排出状況の比較

基準年（平成25年）度と、平成27年度の燃料等の使用量及び二酸化炭素排出量を比較すると、下表のとおりとなりました。（資料編参照P29～）

【燃料等種類別二酸化炭素排出状況の比較】

活動項目	燃料等の使用量			二酸化炭素排出量(kg-CO2)				種類別割合 平成27年度	
	単位	基準年度 平成25年度	平成27年度	基準年度(平成25年度) 排出係数	平成27年度 排出量	平成27年度 排出量	対基準年度 増減率		
電気の使用	東京電力(株)	kWh	6,532,590	6,550,179	0.530	3,462,272	3,471,595	0.2%	74.9%
	昭和シェル石油(株)		1,427,493		0.377	538,165			
	(株)エネット		3,547,870	1,522,544	0.423	1,500,749	644,036		
	伊藤忠エネクス(株)			1,615,254	0.380		613,797		
	(株)F-Power			58,817	0.491		28,879		
	JX日鉱日石エネルギー(株)			538,013	0.420		225,965		
	ミツロギエネルギー(株)			1,413,830	0.375		530,186		
	小計		11,507,953	11,698,637		5,501,186	5,514,458		
燃料の使用	ガソリン	L	65,788	66,678	2.32	152,627	154,693	1.4%	2.1%
	灯油		235,061	183,750	2.49	585,302	457,538	-21.8%	6.2%
	軽油		68,630	64,053	2.58	177,066	165,257	-6.7%	2.2%
	A重油		146,200	2,200	2.71	396,202	5,962	-98.5%	0.1%
	液化石油ガス(LPG)	m3	19,788	16,549	3.00	59,364	49,646	-16.4%	0.7%
	都市ガス(13A)		352,288	454,117	2.23	785,602	1,012,681	28.9%	13.8%
	天然ガス(CNG)		900	254	2.22	1,998	564	-71.8%	0.0%
	小計	-	-	-	2,158,161	1,846,340	-14.4%	25.1%	
合計	-	-	-	-	7,659,347	7,360,799	-3.9%	100.0%	

単位未満四捨五入のため、合計や内訳が一致しない場合があります。

対基準年度増減率 = (平成27年度CO2排出量 - 基準年度CO2排出量) ÷ 基準年度CO2排出量 × 100

種類別割合 = 各燃料の平成27年度CO2排出量 ÷ 平成27年度CO2総排出量 × 100

電気の使用による二酸化炭素排出量の小計は、0.2%微増し、排出割合は、平成27年度の総排出量の74.9%（基準年度71.8%）を占めています。

一方、燃料の使用による二酸化炭素排出量は、小計で14.4%減少させることができました。燃料の種類別に比較すると、学校の冷暖房のほか、学校給食センター設備のエネルギー源転換などにより、A重油からの排出量を98.5%、灯油からの排出量を21.8%、液化石油ガス(LPG)からの排出量を16.4%と、それぞれ減少させることができました。また、エネルギー源転換により、二酸化炭素排出量に影響する二酸化炭素係数がより低いエネルギー源とすることができました。しかし、前述の学校給食センター設備のエネルギー源転換にともない、都市ガス(13A)の使用量が28.9%増加してしまいましたが、A重油からの転換により、二酸化炭素係数が低いエネルギー源にすることができました。さらに、天然ガス(CNG)からの排出量は、リサイクルプラザの塵芥車の運用を工夫したことにより、71.8%減少させることができました。

5 削減目標の取組結果

本実行計画で掲げた削減目標に対する達成削減率は、次のとおりです。

【 削減目標 達成削減率 】〔P.30 資料1 削減計画内訳達成度 参照〕

(1) 市施設の節電行動による 41,449kg-CO₂(電気) 削減率 2.0% あやせ

E M S による進行管理： 36,366kg-CO₂、達成削減率 1.9%(A)

(2) 本庁舎冷暖房施設機器の更新による 104,171kg-CO₂(都市ガス) 削減率

40.0% 冷暖房施設機器の更新： 70,979kg-CO₂、達成削減率 27.3%(B)

(3) 本庁舎のLED照明化(3,000本)による 101,776kg-CO₂(電気) 削減

率 20.9% 27年度は、取り組みなし。計画年度中の実施を目指す。

(4) 道路照明灯50基のLED照明化による 19,466kg-CO₂(電気) 削減率 3.0%

道路照明灯18基をLED照明化： 7,008kg-CO₂、達成削減率 1.1%(C)

(5) 学校給食センターの設備更新による 113,591kg-CO₂(A重油・LPガス 都

市ガス) 削減率 28.3% 設備更新： 91,802kg-CO₂、達成削減率 16.2%

(D)

(6) 削減目標：塵芥車1台のハイブリッド塵芥車更新による 2,915kg-CO₂(軽油)

削減率 2.34% 27年度は、取り組みなし。計画年度中の実施を目指す。

合計206,155kg-CO₂を削減 目標383,368kg-CO₂削減：目標達成率53.8%

平成27年度は、電気の使用量を削減するために、事務室等で実施する取組項目に掲げた、照明や電気機器の使用抑制に取り組みましたが、浄水管理センターの機能促進に向けた更新工事や、消防無線のデジタル化に伴う機器の増加などにより、電気使用量が増加傾向になりました。一方、公共施設の整備及び管理運営に係る取組項目に掲げた、公共施設の整備に当たっての「省エネルギー設備の導入」等により、燃料の使用は減少しています。

6 今後の取組

総排出量の74.9%を占める「電気の使用」の排出量を削減するため、LED照明化などの高効率照明の導入や、冷暖房のエネルギー源転換による排出係数の低い燃料の使用が有効となることから、「綾瀬市公共施設マネジメント基本方針」に基づく施設の更新に当たり、省エネルギー設備の導入や、太陽光発電設備などの新エネルギーを利用した設備の導入を推進するとともに、市民サービスを低下させることなく、節電をはじめとする省エネルギー行動を継続的に取り組む必要があります。

【第2次綾瀬市環境基本計画】

あやせの緑と水をみんなで育み、環境にやさしい暮らしを实践し、安全なまちづくりを進める
～あやせの環境文化と持続可能な社会の形成をめざして～

平成26・27年度 環境行動計画 取組結果

1 平成26・27年度 環境行動計画の概要

本計画は、第2次綾瀬市環境基本計画の行動計画として201項目を設定し、行動内容の進行管理をし、環境にやさしい暮らしを实践するものです。

2 平成27年度の取組状況の把握方法

取組状況の把握は、行動計画として定めた201項目について、「綾瀬市環境マネジメントシステム（あやせEMS）」により、所管課に照会し、取組実績を確認しました。

3 平成26・27年度の取組結果（達成率）

環境の将来像 ～ に掲げられた行動内容全体の達成率は82.5%（将来像毎の達成率合計÷6：将来像）となり、計画的な実践に取組むことができました。

各将来像の達成率は、次のとおりとなりました（資料編参照P35～）。

環境の将来像 豊かな森と水に人々がふれあい、多様な生きものが生息するまち（自然共生社会の構築）：83.0%

自然観察会や農業体験、食育講座などの参加者が多く、市民の関心の高さが伺えます。しかし、緑地の整備等の取組が目標通り進みませんでした。

環境の将来像 生活環境の保全・改善をはかり、みんなが安心して暮らせるまち（生活環境の保全・改善）：100.0%

大気や水質、騒音の監視状況を定期的に周知し、適宜、原因者への指導を実施しました。

環境の将来像 歴史・文化資源を活かし、環境と共生するまち（文化・都市環境の形成）：82.4%

文化財保護や美化活動の達成度が高く、活動が定着してきています。しかし、良好な街並みや環境に配慮した交通体系の整備に向けては、一層の地権

者等との調整を重ねる必要があります。

環境の将来像　　ごみの減量化や3Rが進められ、資源が大切に利用されるまち
（循環型社会の構築）：88.2%

3R啓発事業や自治会の啓発活動により、ごみの減量化・資源化が推進されています。引き続き、ごみ分別の徹底やごみの発生抑制に向けた取組を推進する必要があります。

環境の将来像　　地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち
（低炭素社会の構築）：58.9%

地球温暖化により、豪雨など異常気象の発生や農作物への影響の懸念等があり、低炭素社会の構築は喫緊の課題となっています。環境の将来像の中でも、達成率が低いことから、今後も、二酸化炭素の排出抑制に向け、省エネを実践し、再生可能エネルギー利用の促進に力を入れる必要があります。

環境の将来像　　環境を保全・創造するために市民・市民団体・事業者・市がみんな
で協働するまち（協働社会の構築）：82.3%

市民（家庭）、学校、市民団体の環境学習や環境保全活動は定着してきています。事業所独自の省エネや美化活動も推進されていますが、エコっと21事業所編への登録など、市と事業所と連携を深める必要があります。

4 今後の取組

環境の将来像のうち、将来像（低炭素社会の構築）の達成率が低く、「地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち」を実現するための環境行動のうち、未達成となった次の行動については、行動内容を精査し、達成できる行動内容として、可能な範囲で、第2期環境行動計画で、重点的に取り組む必要があります。

オフィスやショップなど事務活動に係る省エネ・省資源行動の普及：実現に向けた取組　　啓発方法の工夫

市役所の都市ガス使用量の削減(平成20年度比)：実現に向けた取組　　冷暖房設備等のエネルギー源を二酸化炭素排出係数の少ない都市ガスへ転換しているため増加しているが、冷暖房時の温度設定を調整することで、使用量の削減を図る。

事業者用太陽光発電設備設置補助など、太陽光発電設備の設置・導入の促進・
支援：実現に向けた取組 ホームページやイベントでの啓発
事業所での未利用エネルギー活用の検討：実現に向けた取組 情報提供な
ど、事業所との連携

また、環境の将来像別では、「環境の将来像（自然共生社会の構築）」については、
県や地権者と交渉を重ね、緑地の保全・確保を推進する必要があります。さらに、重
点的（優先的）取組内容として設定した「（仮称）あやせ生物多様性行動指針の策定」
については、県等の動向を調査し、策定に向け準備を進める必要があります。「環境
の将来像（生活環境の保全・改善）」については、大気や水質等の継続的な現状調
査や、騒音等の原因者への指導を実施する必要があります。「環境の将来像（文化・
都市環境の形成）」については、良好な街並みや環境に配慮した交通体系の整備を推
進するため、地権者等と調整を重ねる必要があります。「環境の将来像（循環型社
会の構築）」については、ごみ分別の徹底やごみの発生抑制に向けた取組の推進する
必要があります。「環境の将来像（低炭素社会の構築）」については、二酸化炭素の
排出抑制に向け、省エネを実践し、再生可能エネルギー利用の促進に力を入れる必要
があります。「環境の将来像（協働社会の構築）」については、事業所独自の省エネ
や美化活動も推進されていますが、市と事業所との連携を深める必要があります。



あやせ環境教育推進基本計画

平成 27 年度～平成 35 年度

平成 27 年度 取組結果

1 あやせ環境教育推進基本計画 - 平成 27 年度～平成 35 年度 - の概要

市では、「環境基本計画」の環境の将来像「環境を保全・創造するために、市民・市民団体・事業者・市がみんなで協働するまち」の中の基本目標の一つに「環境教育・環境学習を進め、あやせの環境を育む地域の人づくりを進めます」と定めており、あらゆる機会を活用して、子どもから大人までを対象とした環境教育・環境学習を進めることとしています。

本計画は、「環境基本計画」を受け、「環境教育等による環境保全の取組の推進に関する法律」第 8 条に基づき、平成 27 年 3 月に策定し、環境教育・環境学習を進め、あやせの環境を育む地域の人づくりを進めるために、各種取組を推進するものです。

あやせ環境教育推進基本計画の概要は以下のとおりです。

計画の位置づけ 「綾瀬市環境基本条例」第 13 条の、環境教育及び学習の振興並びに啓発活動の充実を図るとともに、「第 2 次綾瀬市環境基本計画」に掲げる、環境教育・環境学習を進め、あやせの環境を育む地域の人づくりを進めるための計画とします。

対象期間 平成 27 年度～平成 35 年度

2 平成 27 年度の取組状況の把握方法

取組状況の把握は、行動計画(アクションプラン)として定めた 49 項目について、「綾瀬市環境マネジメントシステム(あやせ EMS)」により、所管課に照会し、取組実績を確認しました。

3 平成27年度の取組結果

アクションプラン49項目のうち、46項目を目標どおり実行できたことから、達成率は93.9%「ほぼ目標どおり」となりました（資料編参照P58～）。

取組結果としては、4目標のうち3目標「(1)人材の育成と活用」「(2)プログラム等の整備と活用」「(4)情報提供と相談体制の整備」のアクションプラン全12項目全てが「目標どおり」となったことから、アクションプランの実行により、計画で設定した次の「展開方向」を推進することができました。

- (1)人材の育成と活用：環境保全に関する専門的な知識を持った指導者の育成・活用と、学校等教職員の指導力向上に努めます。
- (2)プログラム等の整備と活用：市民の環境に関する正しい理解を促進し、環境保全の取組へのきっかけづくりとするため、身近な場で活用できる環境教育プログラムを作成・普及します。
- (4)情報提供と相談体制の整備：市民の環境に関する正しい理解を促進し、環境保全の取組へのきっかけづくりとするため、身近な場で活用できる環境教育プログラムを作成・普及します。

なお、環境教育プログラムについては、環境に関する活動を実施している市民団体や企業、学校等から情報を提供していただき、「綾瀬市環境学習プログラム集」として3月に発行しました（情報提供協力数：2市民団体、1事業所、3大学、市、県）。

さらに、環境啓発事業として、「第11回あやせ環境展」「地球の未来とエネルギー展」を、リサイクルプラザで同時開催し、334人の来場者を迎え、家庭や学校、職場、地域での環境保全活動への理解と支援を促進することができました。この他、あやせ環境ネットワークなどの市民団体や事業所と連携し、「ミニソーラークッカーをつくらう！」「3Rリサイクル現場見学会」「目久尻川を知ろう！」「自然体験学習会」「不用品工作教室」「エコ・クッキング教室」「省エネ講座」を開催し、延べ100人の参加がありました。

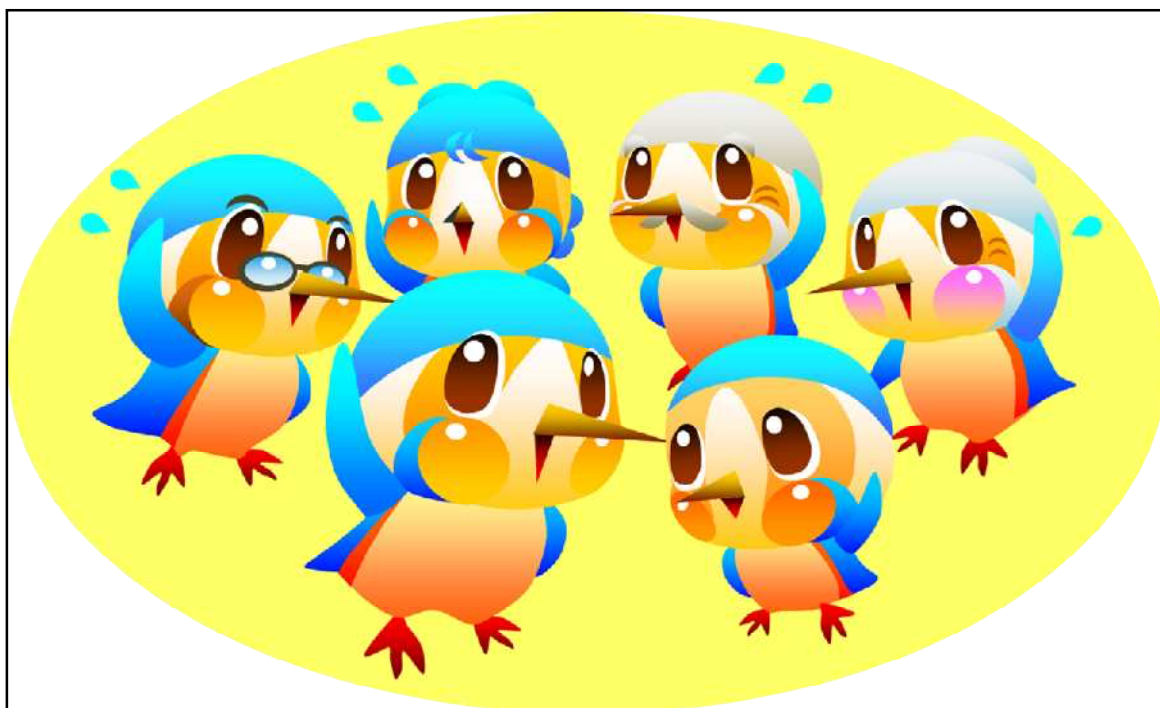
加えて、本アクションプランでは、市内小中学校において37項目の行動を設定していますが、平成27年度は、学校ごとに工夫を加え、児童・生徒に指導することができました。

4 今後の取組

平成27年度は、「(3)参加の場や機会づくり」の目標において、アクションプラン37項目中2項目(従業員向けの環境教育プログラムの提供、生物多様性に係る情報の提供)が未達成となったことから、(3)参加の場や機会づくりの展開方向「年齢や環境への関心の程度に応じた、環境教育の機会を提供します。」については、商工会や各工業団地等と連携を図り、事業所向けの講座開催や従業員向けの環境教育の支援等を推進するとともに、教育委員会や学校、市民団体と連携し、環境教育を効果的に推進する必要があります。

また、市立小・中学校における行動計画についても、引き続き、推進する必要があります。

さらに、「綾瀬市環境学習プログラム集」の内容を定期的に更新し、情報提供することで、環境保全の取組へのきっかけづくりを推進する必要があります。



【 資料編 】

(1) 第 2 次綾瀬市地球温暖化対策実行計画 (事務事業編)

資料 1 削減計画内訳達成度

施設名	27年度二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)								27年度 排出量計	25年度 排出量計
	A重油	灯油	都市 ガス	ガス リン	軽油	LP ガス	天然 ガス	電力		
(参考資料)施設別使用量										
本庁舎(管財契約課)	0	0	189,450	0	0	0	0	530,186	719,636	798,593
綾北福祉会館(福祉総務課)	0	0	10,646	0	0	0	0	13,661	24,307	23,412
もみの木園(障がい福祉課)	0	0	0	0	0	1,219	0	20,536	21,756	23,044
本蓼川墓園(高齢介護課)	0	0	0	0	0	0	0	3,247	3,247	3,293
大上保育園(子育て支援課)	0	0	21,239	0	0	0	0	29,942	51,180	49,351
綾南保育園(子育て支援課)	0	0	19,597	0	0	0	0	28,022	47,619	50,184
保健医療センター	0	0	0	0	0	129	0	53,961	54,090	53,912
児童館3館(青少年課)	0	100	290	0	0	60	0	11,442	11,892	12,063
リサイクルプラザ	0	0	45,514	0	0	0	0	61,811	107,326	111,036
市内公園(みどり政策課)	0	0	0	864	344	0	0	177,525	178,732	169,950
道路照明灯(道路課)	0	0	0	0	0	0	0	632,160	632,160	657,960
道路補修(道路課)	542	0	0	0	0	27	0	0	569	767
浄水管理センター(下水道課)	0	0	0	0	0	68	0	1,605,386	1,605,455	1,534,575
上土棚中継ポンプ場(下水道課)	0	0	0	0	0	0	0	87,672	87,672	84,757
マンホールポンプ(下水道課)	0	0	0	0	0	0	0	39,805	39,805	38,780
流量計2基(下水道課)	0	0	0	0	0	0	0	25	25	25
消防本部(消防総務課)	0	0	0	0	0	4,115	0	70,809	74,924	81,849
消防北分署(消防総務課)	0	0	0	0	0	2,408	0	26,610	29,018	21,697
消防南分署(消防総務課)	0	0	0	0	0	2,370	0	44,419	46,789	43,039
分団6車庫(消防総務課)	0	0	0	0	0	43	0	9,863	9,905	7,667
小学校10校	0	187,547	112,747	583	0	250	0	642,957	944,083	957,071
中学校5校	0	254,349	0	599	0	336	0	483,009	738,292	883,146
学校給食センター	5,420	0	305,104	0	0	0	0	131,867	442,391	565,262
適応指導教室(教育研究所)	0	0	0	0	0	0	0	3,351	3,351	2,717
文化財収蔵庫(生涯学習課)	0	249	0	0	0	12	0	2,256	2,517	2,727
市民スポーツセンター(スポーツ課)	0	0	77,147	0	0	25	0	225,965	303,137	358,491
市民文化センター(文・中・図・高福含む)	0	0	143,043	0	0	0	0	403,748	546,791	509,667
地区センター5館	0	15,294	0	0	0	188	0	78,730	94,211	95,249
寺尾いずみ会館	0	0	50,460	0	0	0	0	49,082	99,543	73,872
南部ふれあい会館	0	0	37,444	0	0	0	0	46,410	83,854	73,959
管財契約課管理公用車	0	0	0	91,087	6,514	0	0	0	97,601	99,243
リサイクルプラザ管理公用車	0	0	0	4,284	113,891	38,396	564	0	157,134	172,874
道路課管理公用車	0	0	0	4,327	10,571	0	0	0	14,899	17,721
消防総務課管理公用車	0	0	0	52,949	33,937	0	0	0	86,887	81,394
合 計	5,962	457,538	1,012,681	154,693	165,257	49,646	564	5,514,458	7,360,799	7,659,347

- 1 道路照明灯18本をLED化: (300W-125W) × 18灯 × 365日 × 11.5H/1000 × 0.530 = 7,008kg-CO₂()
- 2 平成25年度給食センター都市ガス推計二酸化炭素排出量: 113,591kg-CO₂() + 287,190kg-CO₂() = 400,781kg-CO₂(㊦)
 平成27年度給食センター都市ガス推計二酸化炭素排出量 = A重油使用量(2,000ℓ) × A重油熱量換算係数(39.1) ÷ 都市ガス熱量換算係数(45) × 都市ガス排出係数(2.23) + 都市ガス使用二酸化炭素排出量(305,104 kg-CO₂) = 308,979kg-CO₂(㊧)
 平成27年度削減量: 400,781kg-CO₂(㊦) - 308,979kg-CO₂(㊧) = 91,802kg-CO₂()

・小数点以下は四捨五入しているため、合計と内訳が一致しない場合があります。

25・27年度比較		削減目標					(3)27年度目標達成値				
増減率 %	増減量 kg-CO2	削減内容	削減率 %	削減 kg-CO2	達成時 kg-CO2	合計 kg-CO2	削減率 %	削減 kg-CO2	合計 達成率 %	合計 達成量 kg-CO2	
-10%	-78,957	都市ガス 40%	-40.0%	104,171	156,257	581,883	㊸ -27.3%	70,979	76.3%	-137,753	
		節電行動	-2.0%	10,763	425,626		-1.5%	7,979			
		照明器具3,000本をLED化	-20.9%	101,776			0.0%	0			
3.8%	895	節電行動	-2.0%	257	12,576	23,155	6.5%	-828	95.0%	-1,152	
-5.6%	-1,288			436	21,357	22,608	-5.8%	1,257	103.8%	853	
-1.4%	-46			66	3,228	3,228	-1.4%	46	99.4%	-20	
3.7%	1,830			589	28,879	48,761	1.6%	-474	95.0%	-2,419	
-5.1%	-2,564			545	26,686	49,639	2.9%	-792	104.1%	2,020	
0.3%	178			1,075	52,668	52,837	0.4%	-218	97.6%	-1,253	
-1.4%	-171			226	11,053	11,837	1.4%	-163	100.5%	-55	
-3.3%	-3,711			1,226	60,056	109,810	0.9%	-529	102.3%	2,485	
5.2%	8,782						169,950			94.8%	-8,782
-3.9%	-25,800			(1)道路照明灯50本をLED化	-3.0%	19,466	638,494	638,494	㊸ -1.1%	7,008	101.0%
-25.8%	-198				767			125.8%	198		
4.6%	70,879				1,534,575			95.4%	-70,879		
3.4%	2,915				84,757			96.6%	-2,915		
2.6%	1,024				38,780			97.4%	-1,024		
0.0%	0				25			100.0%	0		
-8.5%	-6,926	節電行動	-2.0%	1,538	75,379	80,311	-7.9%	6,109	106.7%	5,387	
33.7%	7,321			385	18,875	21,312	38.2%	-7,350	63.8%	-7,706	
8.7%	3,750			818	40,084	42,221	8.6%	-3,517	89.2%	-4,569	
29.2%	2,238			153	7,485	7,514	29.1%	-2,225	68.2%	-2,391	
-1.4%	-12,987			12,684	621,515	944,387	1.4%	-8,758	100.0%	303	
-16.4%	-144,854			10,585	518,654	872,561	-8.7%	46,230	115.4%	134,269	
-21.7%	-122,871	(2)A重油、LPガスを都市ガスに変更	-28.3%	113,591	287,190 (164,481)	451,671	㊸ -16.2%	91,802	102.1%	9,281	
23.3%	634	節電行動	-2.0%	54	2,657	2,663	23.6%	-640	74.1%	-688	
-7.7%	-210			50	2,447	2,677	-9.6%	241	106.0%	160	
-15.4%	-55,354					358,491			115.4%	55,354	
7.3%	37,124					509,667			92.7%	-37,124	
-1.1%	-1,038					95,249			101.1%	1,038	
34.7%	25,670					73,872			65.3%	-25,670	
13.4%	9,896					73,959			86.6%	-9,896	
-1.7%	-1,642					99,243			101.7%	1,642	
-9.1%	-15,740	塵芥車(軽油)1台をハイブリッド化	軽油 -2.34%	2,915	121,860 (48,099)	169,959	0.0%	0	107.5%	12,824	
-15.9%	-2,822					17,721			115.9%	2,822	
6.7%	5,492					81,394			93.3%	-5,492	
-3.9%	-298,548			383,368		7,275,979		206,155	98.8%	-84,820	

3 27年度目標達成値 削減率(): 削減kg-CO2 ÷ (削減目標 削減kg-CO2 + 削減目標 達成時kg-CO2) × 100 (削減できた率を「-」表示)
27年度目標達成値 削減kg-CO2(): 削減目標 削減kg-CO2 + 削減目標 達成時kg-CO2 - 活動項目ごとの27年度二酸化炭素排出量
27年度目標達成値 合計達成率(): 合計達成量kg-CO2 ÷ 削減目標 合計kg-CO2 + 1 × 100
27年度目標達成値 合計達成量kg-CO2(): 削減目標 達成時kg-CO2 - 27年度排出量計 (削減目標達成時kg-CO2より排出している場合は「-」表示)
4 [P.22 5(1)] 節電行動による削減量(電気): 節電行動設定施設の27年度目標達成値 削減kg-CO2の合計 = 36,366kg-CO2(小数点以下四捨五入)
節電行動による達成削減率%: 36,366kg-CO2 ÷ 節電行動設定施設の削減目標 達成時kg-CO2の合計(1,929,224kg-CO2) × 100 = 1.9% (㊸)

参考資料

活動項目別・施設別使用量及び二酸化炭素排出量

単位未満四捨五入のため、合計や内訳が一致しない場合があります。

【A重油】

二酸化炭素排出係数：2.71

施設名	使用量 (L)			二酸化炭素排出量 (kg-CO2)			
	25年度 (基準年度)	27年度	対基準年度 増減量	25年度 (基準年度)	27年度	対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
道路補修 (道路管理課)	200	200	0	542	542	0	0.0%
学校給食センター	146,000	2,000	-144,000	395,660	5,420	-390,240	-98.6%
合計	146,200	2,200	-144,000	396,202	5,962	-390,240	-98.5%

【灯油】

二酸化炭素排出係数：2.49

施設名	使用量 (L)			二酸化炭素排出量 (kg-CO2)			
	25年度 (基準年度)	27年度	対基準年度 増減量	25年度 (基準年度)	27年度	対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
小園児童館 (青少年課)	40	40	0	100	100	0	0.0%
リサイクルプラザ	243	0	-243	605	0	-605	-100.0%
小学校10校	86,553	75,320	-11,233	215,517	187,547	-27,970	-13.0%
中学校5校	141,814	102,148	-39,666	353,117	254,349	-98,768	-28.0%
文化財収蔵庫 (生涯学習課)	90	100	10	224	249	25	11.1%
地区センター2館	6,321	6,142	-179	15,739	15,294	-446	-2.8%
合計	235,061	183,750	-51,311	585,302	457,538	-127,764	-21.8%

【都市ガス】

二酸化炭素排出係数：2.23

施設名	使用量 (m3)			二酸化炭素排出量 (kg-CO2)			
	25年度 (基準年度)	27年度	対基準年度 増減量	25年度 (基準年度)	27年度	対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
本庁舎 (管財契約課)	116,784	84,955	-31,829	260,428	189,450	-70,979	-27.3%
綾北福祉会館 (福祉総務課)	4,744	4,774	30	10,579	10,646	67	0.6%
大上保育園 (子育て支援課)	8,916	9,524	608	19,883	21,239	1,356	6.8%
綾南保育園 (子育て支援課)	10,293	8,788	-1,505	22,953	19,597	-3,356	-14.6%
ながつ児童館 (青少年課)	285	130	-155	636	290	-346	-54.4%
リサイクルプラザ	22,040	20,410	-1,630	49,149	45,514	-3,635	-7.4%
小学校6校	47,733	50,559	2,826	106,445	112,747	6,302	5.9%
学校給食センター	0	136,818	136,818	0	305,104	305,104	皆増
市民スポーツセンター (スポーツ課)	35,138	34,595	-543	78,358	77,147	-1,211	-1.5%
市民文化センター (文・中・図・高福含む)	77,290	64,145	-13,145	172,357	143,043	-29,313	-17.0%
寺尾いずみ会館	15,281	22,628	7,347	34,077	50,460	16,384	48.1%
南部ふれあい会館	13,784	16,791	3,007	30,738	37,444	6,706	21.8%
合計	352,288	454,117	101,829	785,602	1,012,681	227,078	28.9%

【ガソリン】

二酸化炭素排出係数：2.32

施設名	使用量 (L)			二酸化炭素排出量 (kg-CO2)			
	25年度 (基準年度)	27年度	対基準年度 増減量	25年度 (基準年度)	27年度	対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
市内公園 (みどり政策課)	379	372	-7	880	864	-16	-1.8%
小学校10校	322	251	-71	748	583	-165	-22.1%
中学校5校	181	258	77	419	599	179	42.7%
公用車	64,905	65,796	891	150,580	152,647	2,067	1.4%
合計	65,788	66,678	1,705	152,627	154,693	3,956	-39.9%

【軽油】

二酸化炭素排出係数：2.58

施設名	使用量 (L)			二酸化炭素排出量 (kg-CO2)			
	25年度 (基準年度)	27年度	対基準年度 増減量	25年度 (基準年度)	27年度	対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
市内公園 (みどり政策課)	119	133	14	307	344	37	11.9%
公用車	68,511	63,920	-4,591	176,759	164,913	-11,845	-6.7%
合計	68,630	64,053	-4,577	177,066	165,257	-11,809	-6.7%

【LPガス】

二酸化炭素排出係数：3.00

施設名	使用量 (m3)			二酸化炭素排出量 (kg-CO2)			
	25年度 (基準年度)	27年度	対基準年度 増減量	25年度 (基準年度)	27年度	対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
もみの木園 (障害福祉課)	417	406	-11	1,251	1,219	-32	-2.5%
保健医療センター	56	43	-13	169	129	-40	-23.4%
児童館2館	16	20	4	49	60	12	24.1%
道路補修 (道路管理課)	75	9	-66	225	27	-198	-88.0%
浄水管理センター (下水道課)	47	23	-24	141	68	-73	-51.7%
消防本部 (消防総務課)	1,644	1,372	-272	4,932	4,115	-817	-16.6%
消防北分署 (消防総務課)	812	803	-10	2,437	2,408	-29	-1.2%
消防南分署 (消防総務課)	712	790	78	2,137	2,370	233	10.9%
分団6車庫 (消防総務課)	10	14	4	30	43	13	43.4%
小学校6校	54	83	29	162	250	88	54.2%
中学校5校	124	112	-12	371	336	-35	-9.4%
学校給食センター	1,707	0	-1,707	5,121	0	-5,121	-100.0%
適応指導教室 (教育研究所)	2	0	-2	6	0	-6	-100.0%
文化財収蔵庫 (生涯学習課)	2	4	2	6	12	6	100.0%
市民スポーツセンター (スポーツ課)	46	8	-38	138	25	-113	-81.9%
地区センター5館	99	63	-36	296	188	-108	-36.6%
小計	5,823	3,750	-2,073	17,469	11,250	-6,219	-35.6%
公用車	13,965	12,799	-1,166	41,895	38,396	-3,499	-8.4%
合計	19,788	16,549	-3,239	59,364	49,646	-9,717	-16.4%

【天然ガス】

二酸化炭素排出係数：2.22

施設名	使用量 (m3)			二酸化炭素排出量 (kg-CO2)			
	25年度 (基準年度)	27年度	対基準年度 増減量	25年度 (基準年度)	27年度	対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
公用車	900	254	-646	1,998	564	-1,434	-71.8%
合計	900	254	-646	1,998	564	-1,434	-71.8%

【電力】

施設名	使用量 (kWh)			二酸化炭素排出量 (kg-CO2)		
	25年度 (基準年度)	27年度	対基準年度 増減量	25年度(基準年度)		
				電力事業者	排出係数	排出量
本庁舎(管財契約課)	1,427,493	1,413,830	-13,663	昭和シェル石油(株)	0.377	538,165
綾北福祉会館(福祉総務課)	24,213	25,776	1,563	東京電力(株)	0.530	12,833
もみの木園(障害福祉課)	41,119	38,748	-2,371			21,793
本蓼川墓園(高齢介護課)	6,214	6,127	-87			3,293
大上保育園(子育て支援課)	55,600	56,494	894			29,468
綾南保育園(子育て支援課)	51,378	52,872	1,494			27,230
保健医療センター	101,402	101,813	411			53,743
児童館3館(青少年課)	21,281	21,589	308			11,279
リサイクルプラザ	115,626	116,625	999			61,282
市内公園(みどり政策課)	318,421	334,952	16,531			168,763
道路照明灯(道路管理課)	1,241,434	1,192,755	-48,679			657,960
浄水管理センター(下水道課)	2,895,159	3,029,031	133,872			1,534,434
上土棚中継ポンプ場(下水道課)	159,919	165,419	5,500			84,757
マンホールポンプ(下水道課)	73,170	75,103	1,933			38,780
流量計2基(下水道課)	48	48	0			25
消防本部(消防総務課)	145,127	133,601	-11,526			76,917
消防北分署(消防総務課)	36,340	50,207	13,867			19,260
消防南分署(消防総務課)	77,173	83,809	6,636			40,902
分団6車庫(消防総務課)	14,410	18,609	4,199			7,637
小学校10校	1,499,289	1,604,315	105,026			(株)エネット
内訳		(774,822)				
		(829,493)				
中学校5校	1,251,156	1,204,693	-46,463	(株)エネット	0.423	529,239
内訳		(586,641)				
		(618,052)				
学校給食センター	310,342	328,790	18,448	(株)エネット	0.423	164,481
内訳		(161,081)				
		(167,709)				
適応指導教室(教育研究所)	5,115	6,323	1,208	東京電力(株)	0.530	2,711
文化財収蔵庫(生涯学習課)	4,711	4,257	-454		0.530	2,497
市民スポーツセンター(スポーツ課)	528,294	538,013	9,719		0.530	279,996
市民文化センター (文・中・図・高福含む)	797,425	764,776	-32,649	(株)エネット	0.423	337,311
内訳		(724,173)				
		(40,603)				
地区センター5館	149,460	149,007	-453	東京電力(株)	0.530	79,214
内訳		(142,754)				
		(6,253)				
寺尾いずみ会館	75,086	93,056	17,970	東京電力(株)	0.530	39,796
内訳		(86,968)				
		(6,088)				
南部ふれあい会館	81,548	87,999	6,451	東京電力(株)	0.530	43,220
内訳		(82,126)				
		(5,873)				
合計	11,507,953	11,698,637	190,684			5,501,186

二酸化炭素排出量 (kg-CO2)				
27年度			対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
電力事業者	排出係数	排出量		
ミツロコグ リーエ社(株)	0.375	530,186	-7,979	-1.5%
東京電力(株)	0.530	13,661	828	6.5%
		20,536	-1,257	-5.8%
		3,247	-46	-1.4%
		29,942	474	1.6%
		28,022	792	2.9%
		53,961	218	0.4%
		11,442	163	1.4%
		61,811	529	0.9%
		177,525	8,761	5.2%
		632,160	-25,800	-3.9%
		1,605,386	70,952	4.6%
		87,672	2,915	3.4%
		39,805	1,024	2.6%
		25	0	0.0%
		70,809	-6,109	-7.9%
		26,610	7,350	38.2%
		44,419	3,517	8.6%
9,863	2,225	29.1%		
		642,957	8,758	1.4%
(株)エネット	0.423	(327,750)		
伊藤忠エネクス(株)	0.380	(315,207)		
		483,009	-46,230	-8.7%
(株)エネット	0.423	(248,149)		
伊藤忠エネクス(株)	0.380	(234,860)		
		131,867	-32,615	-19.8%
(株)エネット	0.423	(68,137)		
伊藤忠エネクス(株)	0.380	(63,729)		
東京電力(株)	0.530	3,351	640	23.6%
		2,256	-241	-9.6%
J X エネルギー(株)	0.420	225,965	-54,030	-19.3%
		403,748	66,437	19.7%
東京電力(株)	0.530	(383,812)		
(株)F - Power	0.491	(19,936)		
		78,730	-484	-0.6%
東京電力(株)	0.530	(75,660)		
(株)F - Power	0.491	(3,070)		
		49,082	9,287	23.3%
東京電力(株)	0.530	(46,093)		
(株)F - Power	0.491	(2,989)		
		46,410	3,190	7.4%
東京電力(株)	0.530	(43,527)		
(株)F - Power	0.491	(2,884)		
		5,514,458	13,272	0.2%

【 資料編 】

(2) 第 2 次 綾 瀬 市 環 境 基 本 計 画 (平 成 2 6 ・ 2 7 年 度) 環 境 行 動 計 画

環境の将来像 豊かな森と水に人々がふれあい、多様な生きものが生息するまち (自然共生社会の構築) 目標どおり「 : 100%」、ほぼ目標どおり「 : 80%~」、一部未実施又は一部未達成「 : 60%~」、未実施又は未達成「 x 」				総合評価
全4目標のうち、「ほぼ目標通り」以上が3目標となったことから、総合評価は「ほぼ目標どおり」となりました。 自然観察会や農業体験、食育講座などの参加者が多く、市民の関心の高さが伺えます。一方、緑地の整備は目標通り進んでいませんが、県や地権者と交渉を重ね、緑地の保全・確保を推進していきます。				達成率 83.0% 達成率合計÷4
基本目標 緑と水のネットワークをつくり、生物の多様性を守り、育みます				評価
全11行動のうち、No.8「祖師谷緑地の保全」などの4行動が「未達成」となったため、評価は「一部未達成」となりました。 良好な生物生息環境を育み、優れた環境の緑地が確保できるよう、引き続き、地権者との調整を続けていきます。 自然観察会など環境学習に関する取組は達成率が高くなっていますが、行動計画の見直しにより、今後は、あやせ環境教育推進基本計画アクションプランで進行管理します。				達成率 63.6% 7行動÷11行動
方針(1) 綾瀬の生物を知る、生物多様性を守り、育む	26年度	27年度	取組実績	評価
生物多様性保全行動の推進				
1 (仮称)あやせ生物多様性行動指針の策定	先進事例情報収集	策定(先進事例情報収集)	県内自治体等の情報収集のほか、県が策定予定の計画(仮称 神奈川県生物多様性地域戦略)の説明会に出席	
生物多様性保全への理解の増進				
2 自然観察会・学習会など啓発活動の実施	年1回以上(1団体以上)(20人以上)	年1回以上(1団体以上)(20人以上)	26年度:自然観察会(7月)25人参加 27年度:目久尻川を知ろう(7月)14人参加、講師:綾瀬城山ほたる保存会 自然体験学習会(9月)13人参加	
3 動植物の生息支援団体及び生息地保全団体への助成	1団体以上	1団体以上	綾瀬城山ほたる保存会に助成	
方針(2) カワセミやホタルなど綾瀬に生育・生息する生物を調べ、健全な生態系を育む	26年度	27年度	取組実績	評価
生物の生育・生息状況調査の推進				
4 生物の生育・生息状況調査	調査対象選定等準備	年1回以上	「綾瀬の野草」を活用し生息状況の確認 「目久尻川を知ろう」で流域の植物や生き物を紹介	
生態系の保全対策の推進				
5 特定外来生物の調査・駆除	調査対象選定等準備	年1回以上	「綾瀬の野草」を活用し生息状況の確認 有害鳥獣の駆除を年間を通して実施	
6 風土に適した樹種を用いた緑化の推進	1箇所	1箇所	26年度:サツキツツジを1666株(仮称)神崎公園に植栽 27年度:河津桜等(20本程度)を蟹ヶ谷公園に植樹	

方針(3) 都市に隣接した良好な里地里山の良好な生物生息環境を育み、つなぐ		26年度	27年度	取組実績	評価
河川を基軸とした水と緑のネットワークづくりの推進					
7	ビオトープを念頭に置いた都市公園の整備	目久尻川親水公園の用地買収 ×	実施設計	目久尻川親水公園の整備に向け、925㎡の用地を買収及び実施設計委託の実施	
生物多様性保全に向けた環境配慮の推進					
8	祖師谷緑地の保全	保全及び指定準備 ×	保全及び指定準備	緑の基本計画に基づき目久尻川沿いの良好な斜面緑地として保全できるよう、地権者と調整	
9	優れた環境の緑地の確保	保全及び指定準備	保全及び指定準備	26年度:野あざみの森を指定 27年度:地権者との調整	
10	親水護岸の整備とホテル護岸等整備による緑化	県に整備要望	県に整備要望	県に要望書を提出	
11	河川沿いの植栽ブロック等による緑化の検討	県に整備要望	県に整備要望	県に要望書を提出	
基本目標 水辺の斜面林や森を守り、緑化を進め、自然とのふれあいを豊かにします					評価
全10行動のうち、No.9「生垣奨励事業の推進」が「一部未達成」でしたが、他の行動が「ほぼ目標どおり」となったため、評価も「ほぼ目標どおり」となりました。 ホームページなどで生垣奨励事業を広報し、身近な緑をつくり、育てる取組を推進していきます。					達成率 90.0% 9行動÷10行動
方針(1) 綾瀬の斜面林を知る、緑に対する意識を高める		26年度	27年度	取組実績	評価
綾瀬の緑に対する意識の向上					
1	市内の自然や緑に関する情報の提供	年1回以上	年1回以上	緑化フェア(5月)にて展示	
方針(2) 水辺の斜面林など里地里山環境を保全・再生する		26年度	27年度	取組実績	評価
里山の再生による持続可能な森づくり					
2	里山再生と持続可能な森づくり	緑地保全を1ヶ所指定	候補地選定	野あざみの森を指定	
綾瀬の里地里山景観の保全と活用					
3	景観コンクール等による緑の景観の保全	年1回以上(10人以上)	年1回以上(10人以上)	まちかどガーデンフォトコンテスト実施 26年度:29人、54点 27年度:22人、36点	
方針(3) 身近な緑をつくり、育てる		26年度	27年度	取組実績	評価
住宅地の緑化など、身近な場所での自然とのふれあいの増進					
4	街区公園など身近なレクリエーション施設の整備・充実	1公園	1公園	子ノ神公園に遊具を設置	
5	公園の緑のイメージアップ事業	1公園	1公園	箱庭ガーデンボランティアの実施	

6	緑地及び樹木の管理のための補助	40箇所	40箇所	緑地9か所・樹木34本に助成金による補助	
7	緑地保全地区の確保	117,310m ²	117,310m ²	個人と市所有分を合わせ117,310.59m ²	
8	公園愛護会の育成	延60団体	延61団体	26年度末56団体 27年度末61団体	
9	生垣奨励事業の推進	1人以上	1人以上	26年度:1件、生垣の設置を助成 27年度:問合せはあったが、申請にいたらなかった	
10	建物施設の緑化推進	要綱の見直しによる指導	要綱による指導	開発指導を行った	
基本目標 カワセミなどが飛来し、ホタルが飛ぶ水に親しめる場をつくります					評価
全10行動のうち、No.2「比留川クリーン活動の実施」が雨天のため中止となり「一部未達成」でしたが、「ほぼ目標どおり」の評価となりました。					達成率
行動計画の見直しにより、今後、定期的実施し取組が定着してきた行動(行動の定着)や、法的に義務付けられた行動(法的要求事項)は、取組内容に設定せず、環境指標(環境基準や政策目標など)目標値の進行管理を担当課で行います。					90.0%
					9行動÷10行動
方針(1) 水辺の良好な生態系を守り、育てる		26年度	27年度	取組実績	評価
野鳥が飛来し、水棲生物が生息・生育する水辺環境の保全と再生					
1	水質調査毎年度3河川	年6回	年6回	年6回(5・7・9・11・1・3月実施)	
2	比留川クリーン活動の実施	年1回以上	年1回以上	26年度は雨天のため中止 27年度は一般参加者(20人)と清掃作業を実施	
3	河川パトロールの実施	年6回	年6回	年6回実施	
4	水質汚濁防止法に基づく水質基準	遵守	遵守	排水基準の遵守・放流水の水質適合	
湧水の保全と活用					
5	湧水地や湿地の保全	維持管理	維持管理	城山公園の池(蛭の生息地)の維持補修	
方針(2) 安心して水に親しめる場づくり		26年度	27年度	取組実績	評価
安心して水とふれあえる水辺環境の整備					
6	河川沿いサイクリング道路の整備	関係部署と整備調整	関係部署と整備調整	公園とサイクリングロードの案内看板を設置	
7	目久尻川親水公園の整備	用地買収	実施設計	26年度は、地権者と用地交渉を重ねたが、事業協力が得られなかった 27年度は、実施設計委託の実施及び925m ² の用地を買収	
8	ホタルの保全活動など自然環境保全活動団体との連携	連携	連携	26年度:自然観察会(7月) 27年度:目久尻川を知ろう(7月) 綾瀬城山ほたる保存会に講師依頼	

水辺の環境美化の推進					
9	河川等水辺の環境美化活動の推進	年1回以上 (1団体以上) (30人以上) (10社以上)	年1回以上 (1団体以上) (30人以上) (10社以上)	目久尻川クリーンアップ作戦を実施 ふるさと環境市民や綾瀬青年会議所、市民等が参加 26年5月:34組参加 27年5月:53人、10月:23人参加	
10	河川水質の公表	市広報紙等 年1回以上	市広報紙等 年1回以上	毎年9月「環境情報」を発行し、公表	
基本目標 環境にやさしい農業を進め、ふれあい豊かな農地を守り、育みます				評価	
全17行動のうち、No.4「農地の美化活動(不法投棄対策等)の実施」が中止となるなど「一部未達成」の行動があったが、「ほぼ目標どおり」の評価となりました。 行動計画の見直しにより、今後、「親子ふれあい農業体験の実施」等の環境学習に関する取組は、あやせ環境教育推進基本計画アクションプランで進行管理します。また、行動の定着や法的要求事項に関する取組は、環境指標目標値の進行管理を担当課で行います。				達成率 88.2% 15行動÷17行動	
方針(1) 農地を保全し、農地の環境保全機能を向上する		26年度	27年度	取組実績	評価
市民の共有財産である農地の多面的機能の保全と活用					
1	若手農業者、新規就農者の確保	1人以上	1人以上	26年度:農協青壮年部に1名加入 27年度:新規就農者2人確保 農協青壮年部への活動支援	
2	農地の利用集積の推進	指導・支援	指導・支援	農用地利用集積計画を作成	
3	農業ボランティア活動の推進	年1回以上 (延べ320人)	年1回以上 (延べ350人)	26年度:年間371名のボランティア派遣を実施 27年度:援農ボランティア養成講座の実施 延べ406人参加	
4	農地の美化活動(不法投棄対策等)の実施	年1回以上 (1事業者以上)	年1回以上 (1事業者以上)	26年度:農業者団体による農用地クリーン活動の中止により未達成 27年度:4団体による農用地の清掃活動実施	
5	農用地利用集積制度の活用	利用斡旋 40件以上	利用斡旋 40件以上	26年度:53件 27年度:57件	
農地の環境保全機能の向上					
6	生産緑地地区の保全	所有者に 保全管理 を指導	所有者に 保全管理 を指導	現地を確認し、必要な場合は指導 肥培管理のされていない農地を管理するため、農業委員会に情報提供を依頼	

方針(2) 土と農と食とのふれあいを高める		26年度	27年度	取組実績	評価
土や農業とのふれあいの推進					
7	エコファーマー認定制度の周知	年1回以上	年1回以上	園芸協会の会議で周知	
8	親子ふれあい農業体験の実施	年5回以上 (20組以上)	年5回以上 (20組以上)	26年度:4月から12月(8月中止)の計8回実施 23組参加 27年度:4月から12月の計9回実施 23組参加	
9	農地を通じた緑とふれあい場としての収穫祭の開催	年1回以上 (30,000人以上) (3事業者以上)	年1回以上 (30,000人以上) (3事業者以上)	26年度:あやせ農業収穫祭への支援(10月 38,000人参加) 27年度:収穫祭の実施に当たっての支援(10月約28,000人、3事業者参加)	
10	農産物マップ作成	年1回	年1回	市内農家の直売所を記載した農産物マップを一部改訂し増刷	
綾瀬の農業と食とのふれあいの推進					
11	地産地消活動の実施	年1回以上 (1団体以上)	年1回以上 (1団体以上)	綾瀬市新鮮野菜直売組合の活動を支援	
12	学校給食への市内農畜産物の供給	21%以上 (品数)	21%以上 (品数)	市内小中学校15校へ市内農畜産物を供給 26年度:29%、16品目 27年度:29%、16品目	
13	地場農産物を活用した料理教室の実施	年5回以上 (100人以上)	年5回以上 (100人以上)	26年度:年5回(163人参加) 27年度:年5回(100人以上参加)	
14	食育事業の推進	年5回以上 (100人以上)	年5回以上 (100人以上)	検診やイベントで実施 26年度:91回、1,358名 27年度:35回、1,055名	
環境に配慮した農業の推進					
15	農産物の生産工程における、農薬等の管理	年1回以上	年1回以上	GAP(農業生産工程管理手法)の周知及び研修会の実施	
16	減農薬・減化学肥料の周知(協会員・ふれあい農園利用者への周知)	年1回以上	年1回以上	園芸協会の会議で減農薬・減化学肥料を周知	
17	農業理解に資する情報提供	年1回以上	年1回以上	畜産協会主催による消費者交流会に参加者へ農産物マップを配布し、農業理解を図った	
環境の将来像 生活環境の保全・改善をはかり、みんなが安心して暮らせるまち (生活環境の保全・改善)					総合評価
全3目標を「目標通り」実施し、総合評価は「目標どおり」となりました。 大気や水質、騒音の監視状況を定期的に周知しています。 生活環境を保全し、安心して暮らせるまちを目指し、適宜、原因者への指導を実施しています。					達成率
					100.0%
					達成率合計÷3

基本目標 富士山や大山の景観が楽しめる、空気がきれいなまちにします				評価	
全10行動に取り組み、「目標どおり」の評価となりました。 引き続き、大気等の監視状況を定期的に周知していきます。 行動計画の見直しにより、今後、法的要求事項に関する取組は、環境指標目標値の進行管理を担当課で行います。				達成率 100.0% 10行動÷10行動	
方針(1) きれいな空気を守る		26年度	27年度	取組実績	評価
大気環境の監視					
1	大気汚染物質の測定・公表	測定 県HP公表	測定 県HP公表	毎年9月「環境情報」を発行し、公表	
発生源対策の推進					
2	事業所等への指導実施(排出基準超過時)	適時	適時	3事業所へ粉じん発生等の改善指導実施	
方針(2) 悪臭の発生を抑える		26年度	27年度	取組実績	評価
悪臭発生対策の推進					
3	悪臭防止法に基づく規制地域の指定・規制基準の設定に係る広報実施	随時	随時	HPで規制地域の指定、規制基準を公表	
4	屋外焼却行為禁止広報の実施	随時	随時	26年度:年間33件の指導実施 27年度:年間26件の指導実施、1月広報掲載	
方針(3) 新たな大気環境問題への対応を進める		26年度	27年度	取組実績	評価
有害化学物質による大気汚染の未然防止					
5	光化学スモッグ注意報等発令状況報告	市広報紙等 年1回以上	市広報紙等 年1回以上	環境情報で、光化学スモッグ注意報発令状況を公表	
6	有害大気汚染物質等に係る環境基準の報告	市広報紙等 年1回以上	市広報紙等 年1回以上	HPで有害大気汚染物質の測定結果を公表	
7	大気環境中の化学物質(ダイオキシン類)の報告	市広報紙等 年1回以上	市広報紙等 年1回以上	環境情報でダイオキシン類の測定結果を公表	
8	事業所対策の推進(公害発生源調査の実施・指導)	指導	指導	26年度:5件の指導実施 27年度:3件の指導実施	
地球規模の大気汚染への対応					
9	微小粒子状物質(PM2.5)などの環境汚染への対応	市広報紙等 年1回以上	市広報紙等 年1回以上	HPで高濃度情報等の対応状況公表	
放射性物質による環境汚染への対応					
10	放射線量測定の継続と公表	市広報紙等 年1回以上	市広報紙等 年1回以上	HPで市内各施設の測定結果公表	
基本目標 さまざまな魚が棲み、きれいな水が流れる川を守ります				評価	
全8行動に取り組み、「目標どおり」の評価となりました。 引き続き、河川水質等の監視状況を定期的に周知していきます。 行動計画の見直しにより、今後、法的要求事項や担当課業務の指針と考えられる取組は、環境指標目標値の進行管理を担当課で行います。				達成率 100.0% 8行動÷8行動	

方針(1) きれいな河川を守り、育てる		26年度	27年度	取組実績	評価
河川の水質汚濁状況の監視					
1	3河川の水環境基準値報告	市広報紙等 年1回以上	市広報紙等 年1回以上	環境情報・HPで河川水質 の測定結果公表	
河川水質の改善対策の推進					
2	事業所における廃水処理対策の促進(廃水処理施設の調査・指導)	指導	指導	県条例指定事業所等の水質検査を実施し、基準超過項目があった場合に指導実施 基準超過:0件	
3	水生生物(底生動物)の生息状況調査の実施	調査対象 選定等準備	実施	26年度:各河川の調査場所の選定 27年度:目久尻川を知らう(7月)で水質検査と水辺の生き物を調査	
4	水洗化促進啓発の実施	年1回以上	年1回以上	上下水道システム等を活用し、公共下水道への未接続家屋を抽出し、対象となる未接続家屋所有者139戸を戸別訪問して接続への啓発実施	
5	特定事業場等の水質検査の実施	年10回以上	年10回以上	26事業所を対象に公共下水道への排水を採水して水質の分析による監視等を実施し、河川の水質保全に努めた	
方針(2) 有害物質などによる環境汚染への対応を進める		26年度	27年度	取組実績	評価
有害化学物質などによる河川や地下水、土壌などの環境汚染の未然防止					
6	有害物質等に関する指導	随時	随時	苦情受付時に現地調査を行い原因者に指導実施 指導:0件	
7	地下水水質調査結果報告	市広報紙等 年1回以上	市広報紙等 年1回以上	環境情報で地下水水質の測定結果公表	
8	農薬や除草剤・殺虫剤等の使用量の低減と適正使用の啓発	年1回以上	年1回以上	園芸協会の会議で減農薬・減化学肥料を周知	
基本目標 航空機騒音が少なく、静かで、安らぎのある、住み良いまちにします					評価
全4行動に取り組み、「目標どおり」の評価となりました。 引き続き、騒音の監視状況を定期的に周知するとともに、指導や要請を継続していきます。 行動計画の見直しにより、今後、担当課業務の指針と考えられる取組は、環境指標目標値の進行管理を担当課で行います。					達成率 100.0% 4行動÷4行動
方針(1) 安らぎのある静かなまちにする		26年度	27年度	取組実績	評価
航空機騒音対策(基地対策)の推進					
1	国等への要請行動の実施	実施	実施	26年度:7月16日、8月18日、11月18日実施 27年度:7月13日、8月18日、11月17日実施	
2	航空機騒音測定の実施	実施	実施	市内6カ所の測定地点で実施 航空機騒音の測定結果をHPで公表し、騒音状況を市民に周知	

騒音・振動対策の推進					
3	自動車騒音の状況報告	市広報紙等 年1回以上	市広報紙等 年1回以上	環境情報で自動車騒音常 時監視測定結果公表	
4	騒音対策の推進(規制基準値超過 時等)	指導	指導	苦情受付時に現地調査を 行い、基準を超過している 場合原因者に指導 苦情受付 26年度:24件 27年度:20件	
環境の将来像 歴史・文化資源を活かし、環境と共生するまち(文化・都市環境の形成)				総合評価	
<p>全5目標のうち、3目標で「一部未達成」となりましたが、総合評価は「ほぼ目標どおり」となりました。</p> <p>文化財保護やまちの美化活動の達成度が高く、活動が定着してきています。 地権者や他課との調整を重ね、良好な街並みや環境に配慮した交通体系の整備を推進します。</p>				達成率 82.4% <small>達成率合計÷5</small>	
基本目標 大切な財産である歴史・文化資源を守り、伝えます				評価	
<p>全6行動に取り組み、「目標どおり」の評価となりました。</p> <p>団体への活動助成などにより、文化資源や自然環境の保護・活用が定着してきています。 行動計画の見直しにより、今後、環境学習に関する取組はあやせ環境教育推進基本計画アクションプランで、担当課業務の指針と考えられる取組は、環境指標目標値の進行管理を担当課で行います。</p>				達成率 100.0% <small>6行動÷6行動</small>	
方針(1) 綾瀬の歴史・文化環境を保護・継承する		26年度	27年度	取組実績	評価
文化財などの保護・継承					
1	指定文化財の保護	実施	実施	市史指定文化財11件に対して補助金を交付	
2	埋蔵文化財の調査・出土品の保存	保存	保存	開発行為等に伴う事前の 試掘調査 26年度:11件、27年度:15 件実施 地蔵坂遺跡(上土棚)の出 土品を整理	
綾瀬の歴史・文化資源の保全					
3	市民俗芸能保存団体への助成	8団体以上	8団体以上	市民俗芸能保存協会(8団 体で構成)に補助金を交 付	
方針(2) 綾瀬の歴史・文化とふれあい、知る		26年度	27年度	取組実績	評価
綾瀬の歴史・文化とのふれあいの推進					
4	文化財保護啓発事業の開催	年3回以上 (50人以上)	年3回以上 (50人以上)	26年度:3回、156人 27年度:3回、119人参加	
5	市内の歴史文化遺産や資源に係 る情報の提供(綾瀬の歴史・文 化資源への理解の向上)	年1回以上	年1回以上	「れきしのおと」を市のホーム ページに掲載し、市内の 歴史文化遺産や資源に係 る情報提供を実施	
癒しの音風景のあるまちづくり					
6	癒しの音風景の検討・発見	研究	研究	あやせ環境ネットワークに 事業手法の企画提案を委 託	

基本目標 都市公園など市街地の緑を増やし、うるおいのある景観をつくります				評価
全9行動(目標未設定[-]除く)のうち、No.3「城山公園の機能充実」に取り組めなかったことなどにより、「一部未達成」の評価となりましたが、景観コンテストの実施や公園愛護会の育成により、緑の維持管理への関心が高まっています。				達成率 77.7% 7行動÷9行動
行動計画の見直しにより、今後、緑化フェアなど行動が定着している行動や、担当課業務の指針と考えられる取組は、環境指標目標値の進行管理を担当課で行います。				
方針(1) 市街地の緑を増やす	26年度	27年度	取組実績	評価
都市公園の整備・充実				
1 地域の特性にあった公園の整備	1公園	1公園	お伊勢の宮の森の整備を行った。	
公園などの緑の維持・管理の推進				
2 公園の維持・管理	維持・管理	維持・管理	適正に維持管理を行った	
3 城山公園の機能充実	拡大整備に関する調査	拡大整備に関する調査 ×	26年度:継続調査 27年度:未実施	
市街地の緑化の推進				
4 大規模民間敷地内緑化の推進	要綱の見直しによる指導	要綱による指導	開発指導を行った	
5 駐車場の緑化基準の創設			目標未設定	-
6 緑化フェアの開催	年1回 (3団体以上) (5,000人以上) (7事業所以上)	年1回 (3団体以上) (5,000人以上) (7事業所以上)	26年度:5月25日 8,500人 来場 27年度:5月30日 9,500人 来場	
7 公園愛護会の育成	延60団体	延61団体	26年度末56団体 27年度末61団体	
方針(2) 良好な街並み景観をつくる	26年度	27年度	取組実績	評価
良好な街並み景観形成				
8 景観形成基準の普及・啓発	年1回以上	年1回以上	26年度:「眺望景観」をテーマに景観講演会を開催 40名参加 27年度:「みんなで創ろうあやせの景観」をテーマに景観講演会を開催	
9 屋外広告物対策の推進	パトロール 年1回以上 ×	パトロール 年1回以上	屋外広告物除去キャンペーン実施 26年度は雨のため中止	
10 景観フォトコンテストの実施	年1回	年1回	7月～10月募集:63点、3月 展示 6月～11月募集:55点、3月 展示	

基本目標 人と環境にやさしい交通体系を整備します				評価
<p>全11行動のうち、No.2「都市計画道路の整備」やNo.7「バス乗り換え拠点の整備」が「未実施」となったため、「一部未達成」の評価となりました。</p> <p>地権者や他課との調整を重ね、人と環境に配慮した交通体系の整備を進めていきます。</p> <p>行動計画の見直しにより、エコドライブの普及啓発は環境教育アクションプランで、担当課業務の指針と考えられる取組は環境指標目標値の進行管理を担当課で行います。</p>				<p>達成率</p> <p>72.7%</p> <p>8行動÷11行動</p>
方針(1) 綾瀬を楽しみながら、環境にやさしく巡れるまちづくりを進める	26年度	27年度	取組実績	評価
歩いて暮らせる環境の整備				
1 自家用車への依存の低減	啓発年1回以上	啓発年1回以上	<p>エコドライブシミュレータを活用してエコドライブの促進や自動車依存への低減を図る啓発実施</p> <p>26年度：地球の未来とエネルギー展(2月)体験者31人</p> <p>27年度：環境展(11月)来場者334人、体験者25人</p>	
自転車を活用できる環境の整備				
2 都市計画道路の整備	谷頭東山線・東山線・中郷大邸線	谷頭東山線・東山線・中郷大邸線	地権者と合意に至らず	×
	×	×	取組内容の実現に向けて	
3 歩行空間・自転車走行空間の明確化	現状調査	計画策定	<p>26年度：歩道の有無について調査し、調書を作成</p> <p>27年度：東山線の自転車歩行空間を検討し達成</p>	
方針(2) 環境にやさしい交通利用を進める	26年度	27年度	取組実績	評価
環境にやさしい自動車利用の促進				
4 低公害車の普及	啓発年1回以上	啓発年1回以上	<p>26年度：環境展(11月)で県所有の燃料電池車や市所有の電気自動車を展示 来場者：約1,000人</p> <p>27年度：環境展(11月)で自動車販売店の新世代自動車(e-NV200)を展示 来場者：334人</p>	
5 エコドライブの啓発	啓発年1回以上	啓発年1回以上	<p>26年度：地球の未来とエネルギー展(2月)で、エコドライブシミュレータによる啓発実施。体験者：31人</p> <p>27年度：環境展(11月)で、エコドライブチャレンジシートを配付するとともに、エコドライブシミュレータの体験による啓発実施 来場者：334人、体験者：25人</p>	
公共交通機関の利用促進				
6 移動利便性の高いバス路線への再編	検討	検討	<p>3号車のルート変更</p> <p>4号車ルートに関係機関と調整</p>	

7	バス乗り換え拠点の整備	駐輪場1ヶ所		他課と調整中のため未達成	×
		×	×		
		取組内容の実現に向けて		道路の整備に併せて他課と調整する	
8	コミュニティバスの利用増加(平成24年度比)	1%増	2%増	26年度:目標値:人×1.01 = 175,634人、実績: 181,427人	
				27年度:目標値:人×1.02 = 177,372人、実績: 185,586人	
方針(3) 安全で環境負荷の少ない道をつくる		26年度	27年度	取組実績	評価
安全で円滑な交通流からなる道路の整備					
9	物流の効率化	協力要請	協力要請	(仮称)綾瀬スマートインターチェンジ供用後における市内の物流のあり方について、庁内・市内事業者と相互協力し整序化に努めた。	
10	市道のバリアフリー化	2路線	2路線	26年度:市道80号線、市道727・722号線 27年度:市道2号線	
11	自転車・歩行者道の整備	200m	200m	26年度:市道80号線、市道727・723号線 27年度:市道2号線 409.2m	
基本目標 オープンスペースの確保など環境面から地域の防災性を高めます					評価
全7行動(目標未設定[-]除く)のうち、No.5「生垣設置奨励事業の推進」が設置に至らなかったなどにより、「一部未達成」の評価となりました。 行動計画の見直しにより、自然災害への意識啓発などは環境教育アクションプランで、防災訓練など定着している行動は環境指標目標値の進行管理を担当課で行います。					達成率 71.4% 5行動÷7行動
方針(1) オープンスペースを維持・確保する		26年度	27年度	取組実績	評価
緑による地域の防災性の向上					
1	生産緑地地区の適正保全	所有者に保全管理を指導	所有者に保全管理を指導	26年度:現地を確認し、必要な場合は指導 27年度:肥培管理のされていない農地を管理するため、農業委員会に情報提供を依頼	
2	都市公園などに耐火性樹木の植栽	現況調査	現況調査	公園の樹木は把握しているが、耐火性の調査は実施できなかった	
3	工場地における敷地境界部の樹木要請	開発行為等で要請	開発行為等で要請	開発指導を行った	
4	市街地内オープンスペースの確保			目標未設定	-
5	避難路の機能向上	生垣設置奨励事業の推進	生垣設置奨励事業の推進	26年度:1件、生垣の設置を助成 27年度:0件、問合せはあったが、設置に至らなかった	
			×		

方針(2) 環境保全と一体となった防災意識や対策を進める		26年度	27年度	取組実績	評価
防災意識や対策の啓発					
6	自然災害への意識啓発	啓発 年1回以上	啓発 年1回以上	26年度:防災講演会、子ども防災教室等開催 27年度:自治会等の研修への参加、防災講演会、子ども防災教室等開催	
7	防災訓練の実施	年1回以上	年1回以上	毎年、市総合防災訓練実施	
自然災害時での環境対策の推進					
8	災害廃棄物処理基本計画の策定	先進事例 研究	関係機関 と調整	26年度:環境省主催のワークショップに参加し研究を推進 27年度:県主催の意見交換会や大和高座広域化推進会議等	
基本目標 ごみが散乱しないきれいなまちにします					評価
全10行動のうち、No.3「まち美化マナー宣言への登録」について、事業の見直しにより実施しなかったが、美化活動への支援やキャンペーンを実施し、「ほぼ目標通り」の評価となりました。「ごみの投棄をしない、させない、許さない」環境づくりが定着してきており、今後は、環境指標目標値の進行管理を担当課で行います。					達成率 90.0% 9行動÷10行動
方針(1) きれいなまちづくりを進める		26年度	27年度	取組実績	評価
意識啓発					
1	ごみ出しマナー・ルールの普及・啓発	啓発 年5回以上	啓発 年5回以上	自治会研修会 26年度4回、27年度6回 施設見学会 26年度7回、27年度10回	
2	きれいなまちづくり条例の普及啓発	啓発 年1回以上	啓発 年1回以上	条例の施行日(平成19年7月1日)の前後1か月間を投棄防止キャンペーンの一環として、パネルの展示実施 環境展で啓発実施	
3	まち美化マナー宣言への登録	累計1,000人	累計1,100人	26年度:エコっと21家庭編の申請者に対して要請したことにより、前年度より100人増え、登録累計:1,153名 27年度:まち美化マナー登録に替わる取り組みを検討	
方針(2) ごみの投棄などの禁止		26年度	27年度	取組実績	評価
ごみの投棄防止					
4	不法投棄監視パトロールの実施	年4回以上	年4回以上	県職員と指定6箇所の監視地域を見守るパトロールを実施(4回) 市関係部局と合同で夜間パトロールを6月に2回実施 回収量:26年度約1,320kg、27年度約30kg	

5	投棄防止キャンペーンの実施	年1回以上	年1回以上	「ごみの投棄防止によるきれいなまちづくり条例」の施行日(平成19年7月1日)の前後1か月間を投棄防止キャンペーン期間として、庁舎内、市内商業施設での投棄防止啓発活動やパネルの展示、投棄防止写真展、庁舎内においてのぼり旗の掲出を実施	
方針(3) 環境美化活動を支え、進める		26年度	27年度	取組実績	評価
環境美化活動の推進					
6	まち美化推進キャンペーンの実施	年1回以上 (10,000人以上)	年1回以上 (10,000人以上)	あやせ環境月間の一環として、市民総ぐるみによる「さわやか・あやせ」を合言葉に環境を整え、きれいなまちにするため、広く市民に呼びかけ、市内全域の美化清掃を実施。ごみ回収量:26年度約38t、27年度約32t	
7	美化ポスター・標語の募集	年1回	年1回	26年度:美化ポスター募集応募者数:122人(うち入選12人) 27年度:美化標語を募集応募数:419人(うち入選14人)	
8	美化運動推進功労者の表彰	年1回	年1回	26年度:5団体・3人 27年度:2団体・6人	
9	自治会の美化活動支援	支援	支援	自治会の美化活動を支援するため、ゴミ袋の配布、廃棄物収集	
10	公共用地美化活動への支援・推進	支援	支援	・市HPで事業紹介(管財契約課) ・アダプト制度への支援と公共用地の計画的な草刈等を実施(下水道課) ・アダプト制度登録者が12組(個人又は団体)あり、活動によるゴミ(草など)を回収(道路課)	

環境の将来像		総合評価
ごみの減量化や3Rが進められ、資源が大切に利用されるまち(循環型社会の構築)		
全2目標を「ほぼ目標どおり」実施し、総合評価は「ほぼ目標どおり」となりました。 3R啓発事業や、自治会の啓発活動により、ごみの減量化・資源化が推進されています。 引き続き、ごみ分別を徹底するとともに、ごみの発生抑制に向けた取組を推進します。		達成率 88.2%
		達成率合計÷2
基本目標	生活や事業によるごみを減らし、適正に処理します	評価
全9行動のうち、No.4「生ごみ処理容器購入費助成」の件数が目標に達しなかったものの、家庭ごみの減量化・資源化を推進し「ほぼ目標通り」の評価となりました。 「3R啓発事業の実施」など環境教育に関する行動は環境教育アクションプランで進行管理していきます。		達成率 88.8%
		8行動÷9行動

方針(1) ごみの発生抑制と減量化を進める		26年度	27年度	取組実績	評価
ごみ・環境情報の共有化					
1	カワセミ新聞の発行	年1回以上	年1回以上	26年度:第8号を発行 27年度:第9号を発行	
2	清掃行政の概要の発行	年1回	年1回	毎年度、発行	
リデュース(ごみの発生抑制)の推進					
3	3R啓発事業の実施	年2回以上	年2回以上	おもちゃの病院、家具類補修教室・補修ボランティア養成講座、ツカエルフェア、その他3R啓発事業	
ごみの減量化の推進					
4	生ごみ処理容器購入費助成	年70基以上	年70基以上	26年度:39基、27年度:30基助成 アンケートでは、広報誌、ホームページがきっかけで購入したとの意見が多く、再度補助制度を利用したいという方も多くいたので、広報誌やホームページ等の媒体で地道に宣伝を行っていきと共に、制度を継続して行う	
5	家庭系ごみの減量化	啓発年1回以上	啓発年1回以上	自治会研修会 26年度:4回 27年度:6回	
6	多量排出事業者(年60t以上排出)への指導	対象全て実施	対象全て実施	訪問多量排出者に指導 26年度:8件 27年度:7件	
7	マイバック等の持参啓発	年1回以上 (1団体以上) (50人以上)	年1回以上 (1団体以上) (50人以上)	あやせエコっと21(家庭編)マイバック持参推進キャンペーンを実施。 26年度:応募口数:307口、レシート枚数:1,523枚、廃棄物削減量:15.23kg、二酸化炭素削減量:91.38kg-CO2 27年度:応募口数:402口、レシート枚数:2,261枚、廃棄物削減量:22.61kg、二酸化炭素削減量:136kg-CO2	
方針(2) 廃棄物の適正処理を進める		26年度	27年度	取組実績	評価
廃棄物の適正処理の推進					
8	中間処理施設での搬入物検査、環境測定の実施	年1回以上	年1回以上	高座清掃施設組合ダイオキシン測定立会い、高座清掃施設組合搬入物検査立会い、ペットボトルべール調査、プラスチックべール調査	

9	適切な収集・処理体制の充実	実施	実施	平成18年4月から、資源物を2週に1回から週1回に収集体制を変更 資源化率、26年度:29%、27年度:26%	
基本目標 資源を大切にし、再使用や再生利用を進めます					評価
全8行動のうち、No.1「循環型社会の構築に向けた意識啓発」が「一部未達成」となりましたが、限りある資源を大切に作る循環型社会の構築に向け、再使用や再利用を進め「ほぼ目標通り」の評価となりました。 行動計画の見直しにより、意識啓発は環境教育アクションプランで、担当課業務の指針と考えられる取組は環境指標目標値の進行管理を担当課で行います。					達成率
					87.5%
					7行動÷8行動
方針(1)	循環型社会の構築を進める	26年度	27年度	取組実績	評価
循環型社会の構築に向けた意識啓発					
1	循環型社会の構築に向けた意識啓発	年2回以上 (1団体以上) (500人以上)	年2回以上 (1団体以上) (500人以上)	自治会研修会:6回・378人 施設見学会:10回・272人	
リサイクルプラザの活性化					
2	循環型社会構築に向けた拠点としての活用と活性化	事業検討	事業検討	施設見学会、おもちゃの病院、家具類補修教室・補修ボランティア養成講座、ツカエルフェア、その他3R啓発事業	
方針(2)	資源の再使用・再生利用を進める	26年度	27年度	取組実績	評価
リユース(資源の再使用)の推進					
3	ツカエルフェアの開催	年4回以上	年4回以上	毎年4回開催	
リサイクル(資源の循環利用)の推進					
4	資源回収助成制度の実施	実施	実施	資源回収助成金:自治会分 26年度:24,514,838円 27年度:24,469,490円	
5	違反ごみ出しの指導実施	指導	指導	違反ゴミの排出者が確認でき次第、戸別指導を行った	
6	有機性廃棄物や木質系廃棄物の資源化の推進	実施	実施	家庭用生ごみ処理容器購入者補助金、家庭用生ごみ処理容器貸出、剪定枝のチップ化、規定外剪定枝のRPF化事業	
7	グリーン購入等の推進	啓発 年1回以上	啓発 年1回以上	EMS実行員研修会で啓発	
8	ごみのリサイクル(本庁舎)	80%以上	80%以上	毎月10日間のごみの排出量に占めるリサイクル資源と可燃ごみの割合から推計 26年度:81.7% 27年度:81.5%	

環境の将来像 地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち (低炭素社会の構築)				総合評価
<p>全2目標で「一部未達成」となり、総合評価は「一部未達成」となりました。 地球温暖化により、ゲリラ的な豪雨など異常気象の発生や、農作物への影響などの懸念があり、低炭素社会の構築は喫緊の課題となっています。二酸化炭素の排出抑制に向け、省エネを実践し、再生可能エネルギー利用の促進に力を入れていきます。</p>				達成率 58.9% <small>達成率合計÷2</small>
基本目標 電気・ガスなどの省エネルギーやエネルギーの有効利用を進めます				評価
<p>全31行動のうち、本庁舎の都市ガス使用量の増加など、「未達成」となった行動が多く、「一部未達成」の評価となりました。 地球温暖化対策は喫緊の課題となっており、二酸化炭素排出抑制に向けた行動の実践が必要となっています。 省エネに向けた啓発活動は、意識啓発は環境教育アクションプランで進行管理し、エネルギー使用量の管理はあやせEMSの中で進行管理を担当課で行います。</p>				達成率 67.7% <small>21行動÷31行動</small>
方針(1) 低炭素社会に向けた取組を進める	26年度	27年度	取組実績	評価
地球温暖化対策推進計画の策定と推進				
1 地球温暖化対策推進計画の策定	策定	推進	計画に基づき、第2期環境行動計画を策定	
方針(2) 省エネを進める	26年度	27年度	取組実績	評価
省エネ意識の普及・啓発				
2 エネルギーや地球温暖化に関する市民向け学習講座の実施	年1回以上 (1団体以上) (100人以上)	年1回以上 (1団体以上) (100人以上)	26年度:あやせの農業と地球環境(10月)を実施 39人参加 環境都市先進事例講演会(2月)を開催 11人参加 27年度:省エネ講座(3月)を実施 16人参加	
3 省エネ、創エネ体験などのエコイベント開催	年1回以上 (1団体以上) (100人以上)	年1回以上 (1団体以上) (100人以上)	26年度:地球の未来とエネルギー展(2月)の開催 193人来場 27年度:環境展・地球の未来とエネルギー展(11月)の開催 334人来場	
4 環境情報の整備・提供(市民等の省エネ取組事例の発信など)	年1回以上 (1団体以上)	年1回以上 (1団体以上)	26年度:環境展(11月)・地球の未来とエネルギー展(2月)で、市民団体等の取組を展示 27年度:あやせエコっと21(家庭編)節電・節水コースで、取組事例を収集し、HP等で公表	
5 省エネモニター制度の導入	研究	研究	省エネモニター制度について研究したが、実施方法等に課題があるため、導入を断念	
6 市や施設の設備や機器の更新時での省エネ等環境配慮型製品への移行	周知	周知	EMS研修で環境配慮契約等について関係課に周知実施	

7	綾瀬市地球温暖化実行計画(事務事業編)の策定と実行	策定	実行	第1次実行計画:結果をHPで公表 第2次実行計画:EMS実行員研修で説明したほか、重点的削減目標の進捗状況を担当課に照会	
8	「あやせEMS」による環境マネジメントの実行	実行	実行	実行委員が中心となって実施	
9	小学生向け環境ハンドブック「かわせみ」の充実	研究	研究	研究会(10回)を実施し改定	
省エネ行動の推進					
10	あやせエコっと21(家庭編)への参加促進	100人以上	100人以上	26年度:応募数:497件(節電427件、節水70件)CO2削減量:約11.3t 27年度:応募数:208件(節電147件、節水51件、家電買換え10件)CO2削減量:約7.3トン	
11	事業所の環境配慮報告などの促進(あやせエコっと21事業所編への参加促進)	累計44事業所以上	累計54事業所以上	累計44事業所	
12	オフィスやショップなど事務活動に係る省エネ・省資源行動の普及	啓発年1回以上	啓発年1回以上	26年度:環境展(11月)で啓発 27年度:環境展(11月)での啓発を考えていたが、会場の都合で紹介できなかった	×
		取組内容の実現に向けて		次年度以降、啓発方法を工夫する	
13	製造や加工などの工場・事業所での省資源・省エネ対策の推進	啓発年1回以上	啓発年1回以上	26年度:環境展(11月)で、市内の事業所や店舗における省エネ・省資源行動の普及実施 27年度:市建設業協会と省資源対策講習会(3月)を実施 16人参加	
14	資源や製品の運搬、輸送に伴う貨物車両のエコドライブ推進など省エネ行動の普及	年1回以上(1団体以上)	年1回以上(1団体以上)	環境展(11月)で、エコドライブチャレンジシートを配付するとともに、エコドライブシミュレータ体験を実施 26年度:31人、27年度:25人体験	
15	電気自動車の導入補助	10件以上	10件以上	26年度:8件 27年度:13台	
16	雨水貯留槽設置の助成	20件以上	20件以上	26年度:9台 27年度:5台	
17	市役所の電気使用量の削減(平成20年度比)	6%	6%	20年度:11,787,837kwh 26年度:11,452,161kwh、2.8%削減 27年度:11,705,929kwh、0.7%削減	

18	市役所の都市ガス使用量の削減 (平成20年度比)	6%	6%	20年度:279,264m ³ 26年度:454343m ³ 、62.7% 増加	×
		×	×	27年度:454,117m ³ 、62.6% 増加	
		取組内容の実現に向けて		会議室の夜間・土日の利用や早朝・深夜のロケ撮影のため、冷暖房の使用量が増加しているが、温度設定を調整することで、使用量の削減を図る。	
19	市役所の水道使用量の削減(平成20年度比)	6%	6%	20年度:148,578m ³ 26年度:150,361m ³ 、1.2% 増加	
				27年度:140,298m ³ 、5.6% 削減	
方針(3) 低炭素型都市づくりを進める		26年度	27年度	取組実績	評価
豊かな緑を活かした森林吸収の推進					
20	市内の自然や緑に関する情報の提供	年1回以上	年1回以上	緑化フェア(5月)にて展示	
21	城山公園や長峰の森、祖師谷緑地などまとまりある森林の保全と整備	保全	保全	委託、補助金により保全に努めた	
22	河川沿いの緑化	関係部署と整備調整	整備	関係各課と整備時の緑化について調整	
環境負荷の少ない都市づくりの推進					
23	市街地の緑地形成	啓発年1回以上	啓発年1回以上	緑化フェア(5月)にて啓発	
24	市の施設の緑化(壁面緑化、樹木植栽などによる環境貢献)	実施	実施	グリーンカーテンの実施 植栽の適切な維持管理	
25	建物の省エネ化(高气密化・高断熱化、照明器具のLED化(太陽光発電付)の推進、部屋毎の用途に応じた個別空調方式の推進等)の推進	推進	推進	26年度:早園小学校及び綾南小学校の校長室・職員室・事務室をLED化にし、空調設備においても個別空調化を実施 27年度:北の台小学校及び城山中学校の空調設備機能復旧工事で、校長室・職員室・事務室をLED化し、空調設備の個別空調化を実施	
26	防犯灯のLED化の推進	準備	実施	市内全防犯灯のLED化工事が終了 7,215灯	
27	街灯のLED化(太陽光発電付)推進	推進	推進	街灯LED化 26年度:23基、27年度:18基	

28	透水性舗装の促進	200m	200m	26年度:市道80号線、市道727・722号線 27年度:未実施	
方針(4) 蓄エネなどによるエネルギーの有効利用を進める		26年度	27年度	取組実績	評価
蓄電・蓄熱などによるエネルギー有効利用の促進					
29	創エネ・蓄エネ・省エネに関する環境学習や体験機会の提供	年1回以上	年1回以上	環境展及び地球の未来とエネルギー展で、工作教室や企業による燃料電池等の紹介	
30	スマートエネルギーに関する環境学習や情報の提供など普及の推進	啓発年1回以上	啓発年1回以上	環境展やエネルギー展で企業による燃料電池等の紹介 27年度334人来場	
31	スマートエネルギー設備導入補助	20件以上	20件以上	26年度:年間49件 (HEMS23件 家庭用燃料電池20件 リチウムイオン蓄電池6件) 27年度:年間37件(HEMS6件 家庭用燃料電池23件 リチウムイオン蓄電池8件)	
基本目標 太陽光発電など再生可能エネルギーの活用を進めます					評価
全8行動(目標未設定[-]除く)のうち、No.8「事業所での未利用エネルギー活用の検討」など、事業者への支援が「未実施」となり、太陽光発電設備補助件数も予定に達しなかったため、「一部未達成」の評価となりました。					達成率
太陽光発電設備など再生可能エネルギーの利用を進め、地球温暖化防止対策を推進します。行動計画の見直しにより、今後、環境学習機会の提供は環境教育アクションプランで進行管理します。					50.0% 4行動÷8行動
方針(1) 太陽光など再生可能エネルギーの活用を進める		26年度	27年度	取組実績	評価
太陽光発電などの普及					
1	再生可能エネルギーによる環境学習機会の提供	年1回以上 (1団体以上) (100人以上)	年1回以上 (1団体以上) (100人以上)	26年度:環境都市先進事例講演会(2月)を開催 11人参加 27年度:地球の未来とエネルギー展(11月)でソーラークッカー実演やソーラーランタンづくりを実施 334人来場	
2	エコイベントでの太陽光発電や太陽熱を活用した体験機会の提供	年1回以上 (1団体以上) (100人以上)	年1回以上 (1団体以上) (100人以上)	26年度:環境展(11月)で、ソーラーランタン工作教室実施 16人参加 27年度:地球の未来とエネルギー展(11月)でソーラークッカー実演やソーラーランタンづくりを実施 334人来場	
3	住宅用太陽光発電設備設置補助など、太陽光発電設備の設置・導入の促進・支援	150件以上	150件以上	26年度:121件 27年度:98件	
4	共同住宅用太陽光発電設備設置補助など、太陽光発電設備の設置・導入の促進・支援	5件以上	5件以上	26年度:1件 27年度:1件	

5	事業者用太陽光発電設備設置補助など、太陽光発電設備の設置・導入の促進・支援	5件以上	5件以上	26年度:2件 27年度:0件	×
			×		
		取組内容の実現に向けて		ホームページやイベントで啓発する	
6	豊かな緑を活かした森林吸収の推進	2基以上	2基以上	綾瀬スポーツ公園整備工事(交流広場)に、ハイブリッド照明灯2基設置	
未利用エネルギーに関する情報の提供					
7	風力など未利用エネルギーに関する情報の収集と提供	収集	収集	「エコプロダクツ2016」で「水素エネルギー」などの未利用エネルギーの情報を収集	
8	事業所での未利用エネルギー活用の検討	研究	研究	情報収集 情報交換ができなかった	×
			×		
		取組内容の実現に向けて		今後、情報提供など、事業所との連携を図る	
9	里山などの森林の間伐材、公園・街路樹、住宅における剪定枝などのバイオマス資源として有効利用の検討	-	-	目標未設定	-

環境の将来像 環境を保全・創造するために市民・市民団体・事業者・市がみんなで協働するまち (協働社会の構築)					総合評価
全4目標のうち、3目標で「ほぼ目標どおり」となり、総合評価は「ほぼ目標どおり」となりました。市民(家庭)、学校、市民団体の環境学習や環境保全活動は定着してきています。事業所独自の省エネや美化活動も推進されていますが、エコっと21事業所編への登録など、市と事業所と連携を深める必要があります。					達成率
					82.3%
					達成率合計÷4
基本目標 環境教育・環境学習を進め、あやせの環境を育む地域の人づくりを進めます					評価
全7行動(目標未設定[-]除く)のうち、No.2「環境教育・環境学習の推進」で人数が目標に達しませんでした。あやせ環境教育推進基本計画を策定し、講座を開催したことにより、「ほぼ目標どおり」の評価となりました。					達成率
行動計画の見直しにより、今後、環境学習に関する行動は環境教育アクションプランで進行管理します。					87.5%
					7行動÷8行動
方針(1) 環境教育を進め、環境保全の意欲を高める		26年度	27年度	取組実績	評価
環境教育等推進に関する総合的施策の推進					
1	(仮称)あやせ環境教育推進基本計画の策定	策定	推進	あやせ環境教育推進基本計画及びアクションプランの策定及び実施	
環境教育・環境学習の推進					
2	環境学習の実施	年1回以上 (300人以上)	年1回以上 (300人以上)	くらしの環境講座(10月)3Rリサイクル現場見学会(7月)自然体験学習会(7月)等を実施 参加者:延べ157人	
		年4回以上 (30人以上)	年4回以上 (30人以上)		
				26年度:7回、140人参加 27年度:6回、119人参加	
3	講師派遣等への協力	1団体以上 1事業所以上	1団体以上 1事業所以上	くらしの環境講座(10月)3Rリサイクル現場見学会(7月)自然体験学習会(7月)の講師として市内環境団体に協力要請	

4	公開講座「ふるさと学習」を通して環境教育を推進	年1回 30名以内	年1回 30名以内	26年度:地元食材の「綾瀬の伝承料理」・「季節の料理」29人参加 27年度:2「環境学習の実施」に移管	
環境教育・環境学習教材の充実					
5	環境情報の提供	年1回以上	年1回以上	美化活動や環境展などの開催のお知らせを広報あやせや市ホームページ、地域情報紙をととして、適時情報提供実施	
6	小学生向け環境ハンドブック「かわせみ」の充実	内容検討	改定	研究会(10回)を実施し改定	
方針(2) 環境教育・環境保全活動を支える人づくり		26年度	27年度	取組実績	評価
環境教育・環境保全活動を支える人材の育成など					
7	環境リーダーの育成	3人以上	3人以上	あやせ環境ネットワークに、県主催養成講座に参加依頼し、リーダーを育成 26年度:3人、27年度:3人	
8	美化運動推進功労者の表彰	年1回	年1回	26年度:5団体・3人 27年度:2団体・6人	
基本目標 地球環境を守るため、市民・市民団体・事業者・市が協働して取り組みます					評価
全6行動のうち、No.2「環境展の開催」で人数が目標に達しませんでした。あやせEMSを推進し、環境展を開催するなどし、「ほぼ目標どおり」の評価となりました。 行動計画の見直しにより、今後、環境学習に関する行動は環境教育アクションプランで、環境展など定着してきた行動は環境指標目標値の進行管理を担当課で行います。					達成率 83.3% 5行動÷6行動
方針(1) 各主体の自主的な環境配慮を進める		26年度	27年度	取組実績	評価
市民・市民団体・事業者・市の環境保全行動の推進					
1	あやせEMSの継続	継続	継続	推進員・実行員が中心となって実施	
方針(2) 協働による環境保全活動を進める		26年度	27年度	取組実績	評価
環境保全活動機会の充実・提供					
2	環境展の開催	年1回 (1団体以上) (1,000人以上) (1事業所以上)	年1回 (1団体以上) (1,000人以上) (1事業所以上)	26年11月7日 約1,000人 来場 27年11月22日 334人 来場	
市民・市民団体・事業者による環境保全活動への支援					
3	市民活動応援補助金による支援	支援	支援	補助金助成団体(9団体)に対し、環境保全活動に努めるよう指示したところ、全団体がエネルギー使用量の削減に貢献した	

方針(3) 環境交流と連携を深め、協働を進める		26年度	27年度	取組実績	評価
環境交流機会の充実と連携の促進					
4	市民団体の連携による環境イベント等の開催	年1回以上	年1回以上	市民提案型協働事業 NPO法人Voice 80,000人のキャンドルナイト 26年度:約2,500人来場 NPO法人ふるさと環境市民 地球の未来とエネルギー展 26年度:193人来場 27年度:334人来場	
環境保全活動拠点の充実					
5	環境学習拠点としての活用	情報提供年1回以上	情報提供年1回以上	施設見学会 26年度:7回、27年度:10回	
方針(4) 環境に配慮した産業の振興		26年度	27年度	取組実績	評価
環境に配慮した産業の振興					
6	環境に配慮した企業等の支援	経営安定資金融資要綱に基づき支援	経営安定資金融資要綱に基づき支援	ホームページ等で周知をはかり、制度の浸透を進めた。結果として申請は無。	
基本目標 事業者自らが環境意識を高め、環境にやさしい事業活動を進めます					評価
全8行動のうち、No.2「エコっと21事業所編の推進」で登録事業所数が目標に達しなかったことなどにより、「一部未達成」の評価となりました。 行動計画の見直しにより、今後、担当課業務の指針と考えられる取組は担当課で進行管理を行います。					達成率 75.0% 6行動÷8行動
方針(1) 事業所の環境意識を高める		26年度	27年度	取組実績	評価
事業所での環境教育などの推進					
1	従業員・職員等の環境教育の促進と支援	要請・支援	要請・支援	あやせエコっと21事業所編への参加促進をとおして、市内の事業所や店舗における従業員・職員等への省エネ・省資源行動の普及	
事業所の環境保全活動への参加促進					
2	エコっと21事業所編の推進	累計44事業所以上	累計54事業所以上	44事業所	
方針(2) 事業活動における環境対策を進める		26年度	27年度	取組実績	評価
事業所の環境保全対策の推進					
3	建設工事等騒音・振動対策	適時指導	適時指導	届出受付時や苦情受付時にできるだけ騒音・振動を小さくするよう指導	
4	事業所の騒音・振動対策	適時指導	適時指導	規制基準を超過している場合に、騒音・振動対策を行うよう指導	
5	農業理解に資する情報提供と市民の啓発	啓発年1回以上	啓発年1回以上	畜産協会主催の消費者交流会参加者へ農産物マップを配布し、農業理解を図った	

6	環境に配慮した農業の促進(環境・生態系への配慮等)	適時指導	適時指導	適時指導	
事業所周辺の緑化対策の推進					
7	建物施設の緑化推進	要綱見直し 適時指導	要綱により 適時指導	開発指導を行った	
8	工場立地法市準則条例の制定	研究・ 情報収集 パブコメ の実施	制定	線引き見直しに伴い、準則 条例の制定を見送った	×
		×	×	研究や情報収集を推進する	
基本目標 環境情報の整備と発信など、環境情報の共有化を進めます					評価
全6行動のうち、No.2「未利用エネルギーに関する情報の収集と発信」で情報発信はできなかったが、広報などによる情報発信に努め、「ほぼ目標通り」の評価となりました。 行動計画の見直しにより、今後、環境学習に関する行動は環境教育アクションプランで、担当課業務の指針と考えられる取組は担当課で進行管理を行います。					達成率 83.3% 5行動÷6行動
方針(1) 環境情報の充実と共有を進める		26年度	27年度	取組実績	評価
環境に関する情報の整備と提供					
1	市広報紙環境特集号の発行(年1回)	年1回	年1回	環境月間(6/1号)として、あやせエコっと21推進キャンペーン こどもエコクラブ あやせ環境展実行委員募集 地球温暖化対策推進計画など3計画を策定 を掲載	
2	未利用エネルギーに関する情報の収集と発信	適時	適時	「かながわスマートエネルギー計画」に基づく、「風力発電」「小水力発電」などの未利用エネルギーの情報収集	
環境情報の充実・情報交流の推進					
3	環境情報の充実と環境情報の提供	適時	適時	美化活動や環境展などの開催のお知らせを広報あやせや市ホームページ、地域情報紙をととして、適時情報提供実施	
4	環境保全活動、環境イベント情報の発信	適時	適時	美化活動や環境展などの開催のお知らせを広報あやせや市ホームページ、地域情報紙をととして、適時情報提供実施	
5	市民との協働による環境調査、情報整備と発信	適時	適時	市民と協働で目久尻川の水質検査、水辺の植物や生き物等の紹介	
環境保全の取組状況の報告					
6	環境報告書の発行	年1回	年1回	第1次環境基本計画の行動実績を振り返り、報告書を発行 26年度の行動実績を振り返り、報告書を発行	

【 資料編 】

(3) 綾瀬市環境教育推進基本計画(アクションプラン)

目標どおり「 :100%」、ほぼ目標どおり「 :80%~」、一部未実施又は一部未達成「 :60%~」、未実施又は未達成「×」

(1) 人材の育成と活用: 4項目				達成率
環境に関する専門的な知識を持つ指導者の育成や活用、学校等教職員の指導力向上に取り組み、4項目全てを「目標どおり」実施しました。				100%
ア 指導者の育成等	27年度	取組実績	評価	
学校等教職員の指導力向上				
1 教職員の環境に関する研修会等への参加	5人以上	小中学校の校長・教頭を対象に研修を実施(4月)30人参加		
地域社会における指導者の育成				
2 地域社会における環境教育を担う人材の育成講座等への参加	1人以上	神奈川県環境科学センター人材養成講座への参加(7月)1人・(11月)2人		
イ 人材の活用(指導者等の活用)	27年度	取組実績	評価	
3 環境に関する知識を有する人材の活用による講座等の実施	1講座以上	ミニソーラークッカーを作ろう!(7月)や自然体験学習会(9月)などで環境団体に講師を依頼		
4 学校等・地域・事業所等が開催する環境学習会等への講師派遣	1回以上	省エネ講座(3月)で出前講座を活用		
(2) プログラム等の整備と活用: 6項目				達成率
学習教材やプログラム集を活用し、市民への環境保全に関する取組機会の提供に取り組み、6項目全てを「目標どおり」実施しました。				100%
ア 教材・プログラムの整備	27年度	取組実績	評価	
5 発達段階、理解力、活動の場やテーマに応じ学習段階ごとのねらいを明らかにした体系的な環境教育プログラムの整備	作成	綾瀬市環境学習プログラム集を発行		
6 市民・市民団体の有するノウハウを活かした体験型環境教育プログラムの整備				
7 学校等における環境問題が正しく理解できるように発達段階に応じた教材等の整備	2教材以上	小学生向け環境学習ハンドブック「かわせみ」の改定 「綾瀬の野草」活用		
イ 教材・プログラムの活用	27年度	取組実績	評価	
8 プログラムが有効活用されるよう、環境教育を担う指導者や教職員へのプログラムの情報提供	1回以上	小中校長会で綾瀬市環境学習プログラム集を配付		
9 環境教育に関する教材、書籍、DVD等の活用	2教材以上	環境学習プログラム集発行 小学生向け環境学習ハンドブック「かわせみ」の改定 「綾瀬の野草」活用		
10 環境教育プログラム作成に伴う、市民・市民団体の協力	2団体以上	2団体、1事業者、3大学等が協力		

(3) 参加の場や機会づくり: 37項目			達成率
<p>全37項目のうち、No.23「従業員向けの環境教育プログラムの提供」など3項目が実施できませんでした。</p> <p>保育園では、廃材を利用した工作やごみの分別などの「環境保育」を実施し、保護者と連携を図りながら、環境教育に取り組みました。</p> <p>また、イベントや講座を通して、市民活動団体との連携や家庭での省エネの実践機会の提供も推進し、34項目を「目標どおり」実施しました。</p>			92%
ア	学校等における環境教育等の充実	27年度	取組実績
<p>幼稚園・保育園での環境教育の充実</p> <p>幼児が、周囲の様々な環境に好奇心や探究心を持って関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養うため、楽しく、自然に学び、体験できる環境教育プログラムの幼稚園や保育所への導入を支援します。</p>			
11	幼児が、楽しく、自然に学び、体験できる環境教育プログラムを幼稚園や保育所へ提供	2園以上	「環境保育」の実施(2保育園) 環境学習プログラム集発行
<p>環境の将来像 豊かな森と水に人々がふれあい、多様な生きものが生息するまち</p> <p>基本目標 -1 緑と水のネットワークをつくり、生物の多様性を守り、育みます</p>			
12	自然(草花)やいきものへの興味と愛着を持つことを学ぶ	2園以上	「環境保育」の実施(2保育園)
<p>基本目標 -4 環境にやさしい農業を進め、ふれあい豊かな農地を守り、育みます</p>			
13	地産地消の給食を導入する	2園以上	「環境保育」の実施
<p>環境の将来像 生活環境の保全・改善をはかり、みんなが安心して暮らせるまち</p> <p>基本目標 -2 さまざまな魚が棲み、きれいな水が流れる川を守ります</p>			
14	水の大切さを学ぶ	2園以上	「環境保育」の実施(2保育園)
<p>環境の将来像 歴史・文化資源を活かし、環境と共生するまち</p> <p>基本目標 -5 ごみが散乱しないきれいなまちにします</p>			
15	園児とともに、園内及び園庭など施設周辺の清掃の実施	2園以上	「環境保育」の実施(2保育園)
<p>環境の将来像 ごみの減量化や3Rが進められ、資源が大切に利用されるまち</p> <p>基本目標 -1 生活や事業によるごみを減らし、適正に処理します</p>			
16	分別や資源の大切さを学ぶ	2園以上	園児の制作に廃材を利用(2保育園)
<p>環境の将来像 地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち</p> <p>基本目標 -1 電気・ガスなどの省エネルギーやエネルギーの有効利用を進めます</p>			
17	省エネ行動(節電・節水)を学ぶ	2園以上	「環境保育」の実施(2保育園)
イ	家庭・地域社会における環境教育の充実	27年度	取組実績
<p>環境に関する学習機会の充実</p> <p>地球温暖化の防止、生物多様性の保全、健全な物質循環を課題として捉え、廃棄物などの身近なものから地球規模の環境課題まで広範囲にわたる内容とし、環境課題ごとの関連性についても理解できるような環境教育を展開します。</p> <p>知識や理解に実感を持たせ行動に結びつけるため、自然や暮らしの中での体験活動や実践体験を取り入れた、各種の体験型教室等を環境教育の中心に位置付け開催します。</p>			
18	環境展等のイベントの実施	1回以上	環境展、地球の未来とエネルギー展を開催(11月)

19	体験学習等講座(教室)の実施	3回以上	3Rリサイクル現場見学会(7月)や自然体験学習会(9月)等8講座を実施	
市民団体との連携・協働と支援				
20	市民団体と連携・協働して各種教室等の実施	3回以上	あやせ環境ネットワーク等と連携し、8講座を実施	
21	団体活動の支援	1団体以上	ふるさと環境市民、綾瀬城山ほたる保存会	
ウ	事業所が行う環境教育等への支援	27年度	取組実績	評価
22	事業所対象の講座等の実施	1回以上	省エネ講座(3月)を実施	
23	従業員向けの環境教育プログラムの提供	情報収集	事業所と連携を図る機会がなかった	×
24	事業所が実施する環境教育情報の提供	情報収集	環境学習プログラム集発行	
	家庭・地域社会・事業者共通	27年度	取組実績	評価
環境の将来像 豊かな森と水に人々がふれあい、多様な生きものが生息するまち				
基本目標 -1 緑と水のネットワークをつくり、生物の多様性を守り、育みます				
25	生物多様性に係る情報の提供	1回以上	県が策定を予定している計画の説明会に出席したが、情報発信はできなかった	×
26	自然観察会・学習会など啓発活動の実施	1回以上	目久尻川を知ろう!(7月)や自然体験学習会(9月)を実施	
基本目標 -2 水辺の斜面林や森を守り、緑化を進め、自然とのふれあいを豊かにします				
27	市内の自然や緑に関する情報の提供	1回以上	緑化フェア(5月)の開催	
基本目標 -3 カワセミなどが飛来し、ホタルが飛ぶ水に親しめる場をつくります				
28	河川等水辺の美化活動の実施	50人以上	目久尻川クリーンアップ作戦の実施 2回(5月・10月)延べ76人参加	
基本目標 -4 環境にやさしい農業を進め、ふれあい豊かな農地を守り、育みます				
29	ふれあい農業体験の実施	1回以上	9回実施、23組参加	
30	地場農産物を活用した料理教室の実施	1回以上	5回実施、100人以上参加	
31	食育講座の実施	1回以上	35回実施、1,055人参加	
環境の将来像 生活環境の保全・改善をはかり、みんなが安心して暮らせるまち				
基本目標 -1 富士山や大山の景観が楽しめる、空気がきれいなまちにします				
32	低公害車の普及・啓発事業の実施	1回以上	環境展(11月)で自動車販売店の新世代自動車を紹介	
33	エコドライブの啓発事業の実施	1回以上	環境展(11月)でエコドライブチャレンジシートの配付及びエコドライブシミュレータ体験	
環境の将来像 歴史・文化資源を活かし、環境と共生するまち				
基本目標 -1 大切な財産である歴史・文化資源を守り、伝えます				
34	文化財保護啓発事業の実施	1回以上	3回実施、99人参加	
基本目標 -4 オープンスペースの確保など環境面から地域の防災性を高めます				
35	自然災害への意識啓発事業の実施	1回以上	自治会研修会への参加、防災講演会、子ども防災教室の開催	
環境の将来像 ごみの減量化や3Rが進められ、資源が大切に利用されるまち				

基本目標 -1 生活や事業によるごみを減らし、適正に処理します				
36	リデュース(ごみの発生抑制)の啓発	1回以上	自治会研修会等での啓発	
基本目標 -2 資源を大切にし、再利用や再生利用を進めます				
37	3Rの普及・啓発事業の実施	1回以上	おもちゃの病院や家具類補修教室の実施	
環境の将来像 地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち				
基本目標 -1 電気・ガスなどの省エネルギーやエネルギーの有効利用を進めます				
38	エネルギーや地球温暖化に関する講座の実施	1回以上	省エネ講座(3月)を実施	
39	省エネ・創エネ体験などのエコイベントの実施	1回以上	環境展、地球の未来とエネルギー展でエコイベントを実施(11月)	
40	エコっと21家庭編の参加促進	100人以上	節電・節水・家電買換えキャンペーンに208件の応募	
環境の将来像 環境を保全・創造するために、市民・市民団体・事業者・市がみんな協働するまち				
基本目標 -1 環境教育・環境学習を進め、あやせの環境を育む地域の人づくりを進めます				
41	公開講座「ふるさと学習」の実施	1回以上	課題解決セミナー「自然にやさしい生活力」講座を6回実施	
基本目標 -2 地球環境を守るため、市民・市民団体・事業者・市が協働して取り組みます				
42	エコっと21事業所編の参加促進	47社以上	44社	
43	農業理解に役立つ情報提供(広報紙等掲載)	1回以上	畜産協会主催の消費者交流会参加者に農産物マップを配付	
基本目標 -4 環境情報の整備と発信など、環境情報の共有化を進めます				
44	環境関連報告書の発行	1回	平成26年度の行動実績を振り返り、報告書を発行	
45	カワセミ新聞の発行	1回	カワセミ新聞第9号を発行	
工	市職員への環境教育の推進(環境政策課)	27年度	取組実績	評価
46	あやせEMSの運用	不適合0	不適合0件	
47	研修会の実施	1回以上	実行員研修会を実施	
(4) 情報提供と相談体制の整備: 2項目				達成率
環境月間や環境都市宣言などの機会をとらえて、環境教育等を含む環境保全に関する情報の提供に取り組み、2項目全てを「目標どおり」実施しました。				100%
ア 情報の提供		27年度	取組実績	評価
48	市における環境教育等を含む環境を守る取組に関し、広報あやせ、市ホームページや環境展等における情報提供	2回以上	環境月間の特集や美化活動、環境展開催等を広報に掲載	
イ 相談、問合せへの対応		27年度	取組実績	評価
49	市における環境教育等を含む環境を守る取組に関する相談、問合せなどへの適切な対応	適宜	適宜対応	

小・中学校における行動計画:アクションプラン(学習指導要領)小学校14、中学校22、計36項目


(3)参加の場や機会づくり		小学校・中学校での環境教育の充実(教育指導課)	
各教科、道徳、総合的な学習の時間など、学校の教育活動全体を通して環境教育に取り組むよう指導します。			
学習指導要領に基づき、地球温暖化対策(省エネルギー等)や資源循環(リサイクル等)、生物多様性の保全に関わる事項(生物多様性の重要性等)といった地球規模の環境問題と私たちの生活に関わりのあることなどを取り上げるよう指導します。			
児童・生徒それぞれの発達の段階に応じた、環境に関する教育を実施します。実施にあたっては、児童・生徒が環境に関する正しい知識を習得するとともに、自ら体験することに重点を置いた指導に努めます。			
地域の田畑、公園、緑地等を体験活動の場として、学校に応じて活用するよう指導します。			
環境の将来像 豊かな森と水に人々がふれあい、多様な生きものが生息するまち			
基本目標 -1 緑と水のネットワークをつくり、生物の多様性を守り、育みます			
1	小学校	身近な自然の観察	
		生物間の食う食われるという関係などの生物と環境とのかかわりを学ぶ	
2	中学校	自然環境の保全と科学技術の利用の有り方について学ぶ	
		自然環境を調べ、様々な要因が自然界のつり合いに影響していることを学ぶ	
		自然環境保全の重要性を学ぶ	
		地球温暖化、外来種を学ぶ	
基本目標 -2 水辺の斜面林や森を守り、緑化を進め、自然とのふれあいを豊かにします			
3	小学校	自然環境を大切にすることを学ぶ	
	中学校	生物の育成環境と育成技術、生物育成に関する技術を利用した栽培又は飼育を学ぶ	
基本目標 -3 カワセミなどが飛来し、ホタルが飛ぶ水に親しめる場をつくります			
4	小学校	自分と身近な動物や植物などの自然とのかかわりに関心を持ち、自然のすばらしさに気づき、自然を大切にすることを学ぶ	
	中学校	自然愛護を学ぶ	
基本目標 -4 環境にやさしい農業を進め、ふれあい豊かな農地を守り、育みます			
5	小学校	綾瀬の農業を学ぶ	
環境の将来像 生活環境の保全・改善をはかり、みんなが安心して暮らせるまち			
基本目標 -1 富士山や大山の景観が楽しめる、空気がきれいなまちにします			
6	小学校	公害から健康や生活環境を守ることの大切さを学ぶ	
	中学校	公害の防止など環境の保全を学ぶ	
		放射線の性質と利用を学ぶ	
9	地域の実態に即して公害と健康の関係を学ぶ		
基本目標 -2 さまざまな魚が棲み、きれいな水が流れる川を守ります			
7	小学校	綾瀬の水環境を学ぶ	
環境の将来像 歴史・文化資源を活かし、環境と共生するまち			
基本目標 -1 大切な財産である歴史・文化資源を守り、伝えます			
8	小学校	自然環境、伝統や文化などの地域の資源を保護・活用している地域について学ぶ	


10	中学校	世界の人々の生活や環境の多様性を学ぶ
9	基本目標	-4 オープンスペースの確保など環境面から地域の防災性を高めます
	小学校	国土の保全のための森林資源の働きや自然災害の防止を学ぶ
10	基本目標	-5 ごみが散乱しないきれいなまちにします
	小学校	自分の生活と身近な環境とのかかわりに気付き、物の使い方などの工夫を学ぶ
11	小・中学校	美化標語・美化ポスターへ応募する
環境の将来像 ごみの減量化や3Rが進められ、資源が大切に利用されるまち		
12	基本目標	-1 生活や事業によるごみを減らし、適正に処理します
	中学校	環境の保全に十分に配慮した廃棄物処理の必要性を学ぶ
12	基本目標	-2 資源を大切にし、再使用や再生利用を進めます
	小学校	飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理と自分たちの生活や産業とのかかわりを学ぶ
13	中学校	自分や家族の消費生活が環境に与える影響について考え、環境に配慮した消費生活について工夫と実践を学ぶ
環境の将来像 地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち		
13	基本目標	-1 電気・ガスなどの省エネルギーやエネルギーの有効利用を進めます
	小学校	節水や節電などの資源の有効な利用を学ぶ
14	中学校	環境やエネルギーに関する課題を学ぶ
15		地球環境、資源・エネルギーなどの課題解決のための経済的、技術的な協力の大切さを学ぶ
16		日常生活や社会における様々なエネルギー変換の利用を学ぶ
17		人間は、水力、火力、原子力などからエネルギーを得ていること、エネルギーの有効利用の大切さを学ぶ
環境の将来像 環境を保全・創造するために市民・市民団体・事業者・市がみんなで協働するまち		
14	基本目標	-1 環境教育・環境学習を進め、あやせの環境を育む地域の人づくりを進めます
	小学校	飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理と自分たちの生活や産業とのかかわりを学ぶ
18	中学校	自然環境が地域の人々の生活や産業と関係をもっていることを学ぶ
19		持続可能な社会の構築のため、地域における環境保全の取組の大切さを学ぶ
20		持続可能な社会の形成の観点から解決すべき課題探求を学ぶ
21		持続可能な社会をつくることの重要性を学ぶ
22		技術の進展が資源やエネルギーの有効利用、自然環境の保全に貢献することを学ぶ


は市独自の取組


【 資料編 】


(4) 市民環境団体の活動報告 (50 音順)


団体名	代表者
あやせ環境ネットワーク	高澤 良夫
団体の目的・平成 27 年度の活動概要	
<p>【団体の活動目的】 第 2 次綾瀬市環境基本計画の推進を図るため、市と連携して持続可能な社会づくりを目指し、活動しています。</p>	
<p>【平成 27 年度の活動概要】 運営委員会の開催 各プロジェクトチームで啓発事業等を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生向けの講座（水質検査、自然体験学習会、不用品工作教室） ・一般市民や事業所向けの講座（エコ・クッキング教室、3Rリサイクル現場学習会、省エネ講座） ・あやせエコクラブ ・事業手法研究（綾瀬癒しの音風景） ・あやせエコっと21(家庭編)キャンペーン 	


団体名	代表者
あやせくらしの会	大住 久江
団体の目的・平成 27 年度の活動概要	
<p>【団体の活動目的】 生活をより良くしようとの心で始まった会の流れは続いている。市の考えと共に活動を実施している。</p>	 <p data-bbox="932 1798 1294 1832">牛乳パックリサイクル作品</p>
<p>【平成 27 年度の活動概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工場見学（味の素） ・料理教室（安価で旬の物を使う） ・牛乳パックリサイクル（鉛筆立て工作） ・市環境展参加（和服リフォーム作品展示） （レジ袋削減PR） ・老人ホームへ寄贈（毛糸足首ウォーマー） （小物入れ） 	


団体名	代表者
綾瀬城山ほたる保存会	吉田 誠
団体の目的・平成 27 年度の活動概要	
<p>【団体の活動目的】 市内のホタルの保存活動を通して、豊かな都市環境を創造するため活動しています。</p>	
<p>【平成 27 年度の活動概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生息地整備 ・ホタル飛翔期間中のホタルガイド ・観賞会の開催 ・ほたるボランティアセミナー開催によるボランティアの募集及びスキルアップ ・行事参加による普及啓発（市環境展、市民活動フェスタ等への出展） ・小学校の総合学習や各団体主催行事への講師派遣 	

団体名	代表者
あやせ緑普及会	川崎 敏布
団体の目的・平成 27 年度の活動概要	
<p>【団体の活動目的】 2011 年 3 月 11 日の東日本大震災により、私たちに想定外電力不足がのしかかり、日常生活を考えさせられて、省エネ問題が大きく取り沙汰された。仲間では何とかエコ活動を立ち上げたいと思い立ち、つる性植物配布でエコへ貢献する。</p>	
<p>【平成 27 年度の活動概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賛助会員へ苗配布 ・苗提供用種蒔き ・賛助者より苗の受け取り ・出展案山子の見学と制作 ・お茶事業に当たり、準備 	

団体名	代表者
落合キツツキの森・野あざみの森 管理委員会	福島 國美
団体の目的・平成 27 年度の活動概要	
【団体の活動目的】 森での散策で気分を癒し、野草や樹木にも傾注（気を向け）していただく。	
【平成 27 年度の活動概要】 <ul style="list-style-type: none"> ・野あざみの森の下草刈りと遊歩道の設置 ・キツツキの森、取内の森の草刈りと遊歩道の整備 ・地域の子供たちのためにサマーフェスティバルを開催 	

団体名	代表者
おもちゃの病院あやせ	岩淵 寿幸
団体の目的・平成 27 年度の活動概要	
【団体の活動目的】 <ul style="list-style-type: none"> ・おもちゃの修理により、物を大切にする心を伝え、リサイクル意識の改善を推進する（リサイクル） ・おもちゃを通して、ドクターと子供たちのコミュニケーションを図る（地域参画） ・ドクターの技術向上と健康管理（生涯学習） 	
【平成 27 年度の活動概要】 <ul style="list-style-type: none"> ・毎月第一・三日曜日 13:00～15:00 リサイクルプラザで開院しています。 ・今年度は年間 25 回開院し、205 個のおもちゃ修理を受け付け、188 個を修理しました。残念ながら修理できないものも、17 個ありました。 ・たくさんの子供たちが、修理完了したおもちゃを手にして喜んでもらえることで、ドクターも元気を分けていただいています。 	

団体名	代表者
地球チャイルド	松本 俊雅
団体の目的・平成 27 年度の活動概要	
<p>【団体の活動目的】 子供たちが地球環境の大切さを理解し、将来、地球を大好きな人になってもらうことを目的に、実際に土や水と触れ合える農業体験を中心とした自然体験活動を提供しています。</p>	
<p>【平成 27 年度の活動概要】 5月：水田の代かき体験 6月：田植え体験 7月：水田の除草体験 8月：藍の生葉で藍染め体験 9月：サツマイモ掘りと焼き芋体験 10月：稲刈り&お餅つき体験 1月：津久井在来種で豆腐作り体験 2月：ソーセージ作り体験 3月：水田で野草観察&試食体験 4月の牧場体験は雨天等のため中止。 秦野市や海老名市でも活動しています。</p>	

団体名	代表者
長峰の森管理委員会	内藤 英雄
団体の目的・平成 27 年度の活動概要	
<p>【団体の活動目的】 森を増やし、下草刈りや花を植えることで、まちの美化に貢献するための活動をしています。</p>	
<p>【平成 27 年度の活動概要】 小学生を対象に、森林と人間の関係の大切さや環境保護について、体験を交えた学習会を開催している。 8月8日～9日、長峰の森で「綾瀬の森でキャンプ」をキャッチフレーズにキャンプを実施し、120名が参加しました。大人向けの「あやせカルタ」、子供向けとしては、森と人間との関係や「光合成」のスライドを使っの勉強会など2日間にわたり、忙しく楽しい時間でした。</p>	

団体名	代表者
NPO法人 ふるさと環境市民	西 壽子
団体の目的・平成 27 年度の活動概要	
<p>【団体の活動目的】 地球の未来と地域の環境を守り、持続可能なまちづくりを図るため、「考えは地球規模で、行動は足元から」をモットーに活動しています。とくに子供たちの感性を育て「環境市民」「地球市民」に育てていただけるように環境学習を推進しています。</p>	
<p>【平成 27 年度の活動概要】</p> <p>1、環境学習出前講座 「ふるさとの宝をさがそう！博士大集合」 エネルギー、地球、もったいない、お日様、ふるさとの宝カルタ、ホタルの博士による出前授業。綾西小学校、北の台小学校、その他県内の小・中学校で実施。 (神奈川県からの受託事業他)</p> <p>2、市民提案型協働事業(4事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地球の未来とエネルギー展」開催 (環境政策課との協働事業) ・まちかどガーデンフォトコンテスト (みどり政策課との協働事業) ・夏休み親子環境教室 「ミニソーラークッカーを作ろう」 (環境政策課との協働事業) ・もったいないを親子で学ぼう 「エコでおしゃれな新聞バックづくり」 (リサイクルプラザとの協働事業) <p>3、「ふるさとの宝カルタ」普及出前講座等 市役所、小・中学校、公民館などで実施</p> <p>4、つなごう みんなでふるさとの川</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目久尻川クリーンアップ大作戦 5月・10月の年2回清掃活動 ・目久尻川ふれあいウォーク 11月実施 ・不法投棄ウッチング 目久尻川等の不法投棄物の監視・通報 <p>5、その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あやせ緑化フェア協力 (パネル展示、エコクイズ実施) ・青年会議所主催ネイチャーシップ協力 	  

【 資料編 】

(5) エコっと 2 1 (事業所編) 登録事業所活動報告

登録番号 事業所名	平成 2 7 年度取組の感想
第 19-0003 号 ㈱ワイ・ケー電子	<p>社会貢献活動の一環として、ビーチクリーン活動をお客様や協力会者様にも参加していただき、実施いたしました。今後も恒例行事として継続、推進してまいります。</p> <p>環境負荷軽減として、劣化してきた薬液タンクを更新して新しいものに変えました。更に、事故や災害等の緊急時に流出なきよう防液堤を設けました。</p>
第 19-0005 号 ㈱横浜製作所	<p>前年度に引き続き、電気使用量の削減については、1 時間当たりの使用量目標を達成しました。平成 2 8 年度は更なる電気使用量の削減を目指し、初心に戻り節電意識の高揚の取組を実施しております。廃棄物の排出量も、今年度は目標値を達成することができました。また、今年度から「毎月 1 日に会社周辺の清掃」を実施する社会貢献活動の取組も毎月実施することができました。</p> <p>平成 2 8 年度も「本来業務の作業改善の取組」を中心に環境負荷の低減に努めていきます。</p>
第 19-0007 号 ㈱加藤工務店	<p>環境悪化防止のための動きを社内はもとより、建築現場においては取引業者にも声を掛けて、ごみの分別や低減に力を入れてきました。</p> <p>車両も順次、低燃費車に切り替えを行う等、引き続き、良い環境への取組を重ねていきたいと思っています。</p>
第 19-0008 号 ㈱ラテン大和	<p>新しい項目を増やすことを頭に行動して参りましたが、なかなか難しく、途中で切り替え、現在取り組んでいることを更に強化しましたが、結果が今ひとつでした。</p> <p>継続して取り組んで行こうと考えます。</p>
第 20-0001 号 相鉄バス㈱ 綾瀬営業所	<p>今年度は、前年度まで実施しておりました施設面における照明関係の LED 化は全て完了していることから、更なる省エネを推進し環境負荷を低減させるために、全営業所員が一丸となり事務用品及び電気・水道・ガスの節約に取り組んで参りました。</p> <p>また、車両の代替につきましては、低公害・高燃費アイドルングストップ車、更には、排ガスのクリーン化に役立つ尿素バスの導入を推進するため、4 両の新型車両を導入いたしました。なお、平成 2 8 年度は車両の代替計画はございません。</p>

登録番号 事業所名	平成27年度取組の感想
第20-0002号 (株)メイコー	<p>今年度も環境予算（ボイラー燃焼方式を重油から天然ガス化）の申請を行ったが否決されてしまい、具体的な環境対応を実施することはできておりません。</p> <p>また、今年度後半から環境対応の人員が全員新任となり、今、思っていることは、従業員の環境意識を高めることが必要不可欠であるということです。</p> <p>平成28年度も小さい効果であると思われませんが、地道な活動を展開していきます。</p>
第20-0003号 (株)東牧土木	<p>目標としている取組は、日常的になっております。</p> <p>今後も引き続き、環境負荷の低減に努めていきます。</p>
第20-0004号 (株)ネエチア	<p>今期（平成27年7月～平成28年6月）は、前年度に引き続き、間接的に環境負荷を減らすことを目的として、本来業務とISO活動を一体化させる活動を行いました。</p> <p>また、平成27年4月1日フロン排出抑制法が施行され、業務用空調機器の簡易点検（3か月に1回以上）が対象になり、平成27年9月・12月・平成28年3月に簡易点検を実施しました。</p>
第20-0005号 (有)青柳商店	<p>前年度より取組内容が増えました。</p> <p>今後も、出来ることは努めてやっていきたいと思えます。</p>
第20-0006号 (株)山勝	<p>ISO14001の取組の中で工場設備の電気使用量の削減を恒常的に取り組んでいます。</p> <p>前年同様、電気使用量や燃料使用量は「削減」の結果となった。これは企業努力としての使用しないトラックの削減や、外部要因としての製造業の景気低迷による工場稼働の縮小並びに運搬量の減少に起因するものと判断している。</p>
第20-0007号 (株)栄和産業	<p>今年度は、ごみを減量させる活動に取り組みました。ごみの処分に係る費用を種別で月間、年間で集計した資料を基にグループミーティングでごみの減量方法について考えました。結果、今までごみとして廃却していた物の中でリサイクルに回せるものに気付き、ごみの廃却経費が削減できました。また、その効果を社内に周知し社員全体で環境改善活動について実感する事ができたと思えます。</p> <p>平成28年度もテーマが決まっており、社内の環境改善に努めてまいります。</p>

登録番号 事業所名	平成27年度取組の感想
第 20-0008 号 (株)タズミ	<p>今年度も引き続き、焼却されていた廃棄物の燃料化を推進し、自治体からの一般廃棄物・産業廃棄物や食品系製造事業所からの産業廃棄物等の燃料化を推進し、結果、10,110トン燃料として販売し利用されました。</p> <p>また、環境負荷低減（地球温暖化防止対策等）の取組としては、最新規制の車両への切り替え、エコドライブやエコ操作は継続的に実施し効果を維持するとともに、工場部門では設備保全や原料の調合の工夫により生産性を維持、使用した電力や水は、原単位でも効率的に使用することができました。</p> <p>更に、事務用什器類の更新や備品の購入については、環境負荷の少ない製品（グリーン購入品など）の購入の拡大に努めました。</p>
第 20-0013 号 (有)協和商事	<p>引き続き実践していきながら、続けることに負担を感じないように、更に新しい取組も増やし、今後も積極的に取り組んでいきたいと思えます。</p>
(有)野中工業	<p>紙の再利用、照明の消灯等は、意識が向上しています。ごみと資源の分別が他国籍の従業員がいるため徹底できず、今後の課題です。</p>
第 21-0001 号 (株)KYOEI	<p>年数が経つにつれ、取組に対しての気持ちが薄れているようです。</p> <p>継続していく難しさはありますが、習慣になっているものも多々ありますので、他の達成できない目標も習慣化できるよう取り組みたいと思えます。</p>
第 22-0001 号 (株)紺野企業	<p>例年通り敷地内の緑化にゴーヤとサンパチェンスと一緒に植えるグリーンカーテンにより、更なるCO2削減を行ったことと、新規施設として機械選別施設を設置し金属くず（スチール缶、アルミ缶）、PETボトル、ガラス瓶等の選別を開始しました。カーボンオフセットも導入し、受け入れ廃棄物に対してオフセット（相殺）していくことを採用しております。</p> <p>継続的に行われているエコアクション21の環境活動の中で、主に、燃料使用量の削減や工場設備の電気使用量の削減、並びに、排出抑制のための紙の使用量の抑制に取り組んでまいりました。</p> <p>燃料使用量に関しては、車両の増車に伴う低公害車、低燃費車の導入を行い、ガソリン使用量の削減に努めてまいりました。</p> <p>工場設備の工場、倉庫の増設に伴い電気使用量を削減するため、ス</p>

登録番号 事業所名	平成27年度取組の感想
	<p>マートメーターの導入と第一工場動力プレス機の入替えを行うことで、使用電気の削減計画を予定しています。ミスト噴霧器を導入し周囲の気温を低減する取組、使用量の把握とともに削減を継続的に行っています。</p> <p>紙の使用量の排出抑制をするために、使用済みの用紙の裏紙使用、両面印刷の徹底を継続的に行っています。</p>
<p>第 22-0002 号 横浜乳業(株)</p>	<p>前年度に引き続き、エネルギー使用量削減に取り組み、電力、燃料、用水の3項目で使用量の削減となりましたが、製造原単位では、増加してしまいました。平成28年度は、使用量と原単位を改善・削減できるように、より効果の出る取組内容を選定し、実施します。</p> <p>また、生ごみ処理機を導入し、食堂の残渣類は液肥化して処理するようになり、廃棄物発生量の抑制につながっております。</p>
<p>第 22-0003 号 (株)川崎製作所</p>	<p>節電意識が浸透し、時間帯による消灯活動は実施できている。事務用品について、優先してエコマーク商品を購入している。電気、ガソリンの使用量を毎月数値化して社内で報告している。車両ルートの効率化を意識した結果、削減につながっている。</p>
<p>第 24-0001 号 トピー工業(株) 綾瀬製造所</p>	<p>省エネルギー、地球温暖化防止活動、環境負荷の低減、環境に配慮した製品開発を通じて、環境に配慮した事業活動を行ってきております。今年度は、概ね設定した目標が達成できました。</p> <p>平成28年度も、更に環境を重視した活動を行っていきたいと考えております。</p>
<p>第 24-0002 号 (有)飯室商店</p>	<p>今年度は、照明器具のLED化と事務所・工場内の部分点灯（消灯）に注力しました。具体的効果の数字はまだまだ小さいものですが、地道に継続していきたいと思います。</p> <p>恒例の壁面緑化ゴーヤ8株からは、たくさんの収穫がありました。無機質な工場（事務所）がフサフサの緑に覆われ涼やかな気持ちになるだけでなく、実際に室温も3度程度涼しくなりました。また、近隣工場のみなさまとの交流はもちろん、弊社にご来訪いただいたお客様との会話も弾み、今年も「楽しくておいしい場」となりました。</p>
<p>第 24-0004 号 (株)あやせ電気</p>	<p>会社を始めて以来、常に環境のことは気を付けてきました。</p> <p>店前に長い間バス停があるため、常に吸い殻が落ちています。朝、まずごみ拾いから始まります。</p>

登録番号 事業所名	平成27年度取組の感想
第24-0005号 (有)中電社	<p>今年度の住宅用照明器具販売実績は、100%がLEDでした。また、施設用照明器具販売実績は、98%がLEDで、産業用特殊照明（LED代替品なし）が2%という結果になりました。法人向けに、専用ソフトによるコストパフォーマンス比較表を提案したことが結果に繋がった部分もあると思いますが、その一方で、設備投資に踏み切れず、提案のみに終わったケースも多くありました。住宅用照明ではLEDが定着し、各メーカーのカタログから白熱灯・蛍光灯が消えつつあります。今後も環境負荷低減の提案をしていきたいと思います。</p> <p>従来通りの取組ですが、オフィス関連、建設副産物の再利用等は、100%定着しております。</p> <p>エコドライブは100%ですが、アイドリングストップに関しては、前年と同様で、達成率20%程度でした。高所作業車等は操作ボタンを押してから惰性で走行し、10秒後にストップする装置のため、信号手前で判断するのが難しく実施できていません。毎回強制的にエンジンキーを切るのは、スターターが壊れそうで不安ですが、今後も引き続き達成率を上げるよう努めてまいります。</p>
第24-0006号 (株)かなしんオフセット	<p>社内で環境負荷の低減の取組を行っており、コピーの使用量については、前年比25.5%の減と大きな成果となりました。</p> <p>オフィスのペーパーレス化についても、順次行う予定です。</p>
第25-0001号 武田商事(株)	<p>前年度からの取組は継続できており、そこから派生した新たな取組を追加し実行することができました。</p> <p>今後は、これまでとは違った視点からの新たな取組を見つけていきたいです。</p>
第25-0002号 秋本食品(株)	<p>ISO9001、14001の認証工場であり、社員全員にISO教育を行っています。取り組んでいる内容の多くは、日々の業務の中で全員が当然のように行うことができるようになってきたと感じます。今後も、環境負荷の低減に努めてまいります。</p>
第25-0003号 (株)高座豚手造りハム	<p>従業員が節電・節水に対する意識を持って動くことは、できているかなと思いました。</p> <p>更に意識を広め、取り組んでいきたいと思います。</p>
第25-0004号 (有)パレド・モパル	<p>丸電球を店内全部LEDに変えました。</p>

登録番号 事業所名	平成27年度取組の感想
第25-0005号 (有)矢部商店	ついうっかりしがちなので、常に意識して取り組みたいと思います。
第26-0001号 エムケーチーズ(株) 綾瀬工場	<p>前年度に引き続き、CO₂・用水・廃プラや汚泥等の廃棄物をターゲットとして、各々原単位削減目標値を設定して取組を実施しました。毎月定期報告会を開催しており、各職場からも意見が活発に出るようになってきました。</p> <p>掲げた目標を達成するために全社を挙げて努力し、今後も省エネ・廃棄物発生抑制などのエコ活動を行っていきます。</p>
第26-0004号 大平食品加工(株)	前年に引き続き意識を持って取り組み、改めて環境への配慮を確認することができました。
第26-0006号 明電ケミカル(株)相模事業所	環境活動においては、電力使用量削減に取り組み、今年度目標を達成することができました。こまめな節電だけでなく、電力消費量の大きい製造設備については、時間差始動することが重要でした。今後も、エネルギー消費量の削減に取り組みます。
第26-0007号 (株)アサヒコ	<p>目標を掲げることで個々の意識が向上し、効率よく取り組むことができたと思います。</p> <p>2年目になりますが、引き続き継続し、取組目標の達成に向け、環境にやさしい企業へと努めていきます。</p>
第26-0008号 東ソー(株)東京研究センター	<p>今年度は、改正されたフロン排出抑制法への対応や、照明器具の段階的LED化、省エネ型空調設備の導入、廃棄物の分別回収などの環境負荷低減への取組を実施しております。</p> <p>今後も、資源の再利用や分別収集徹底による廃棄物低減への取組、省エネ対策や省エネ型設備の導入等により、環境負荷低減に、より一層努力してまいります。</p>
第26-0009号 日本蛍光化学(株)	<p>従来より取り組んでいた内容でしたが、改めて環境への配慮を確認することができました。</p> <p>今後は、新たな目標を追加できるように努めてまいります。</p>
第26-0010号 東急リネンサプライ(株)相模工場	使い捨て製品の抑制で、マイはし、マイコップを進めているが、持って来るのを忘れる人が多いです。

綾瀬市環境報告書 平成27年度取組結果
平成28年11月発行

発行 神奈川県綾瀬市
編集 環境経済部環境政策課環境政策担当
〒252-1192 綾瀬市早川550番地
電話 0467-70-5620(直通)